

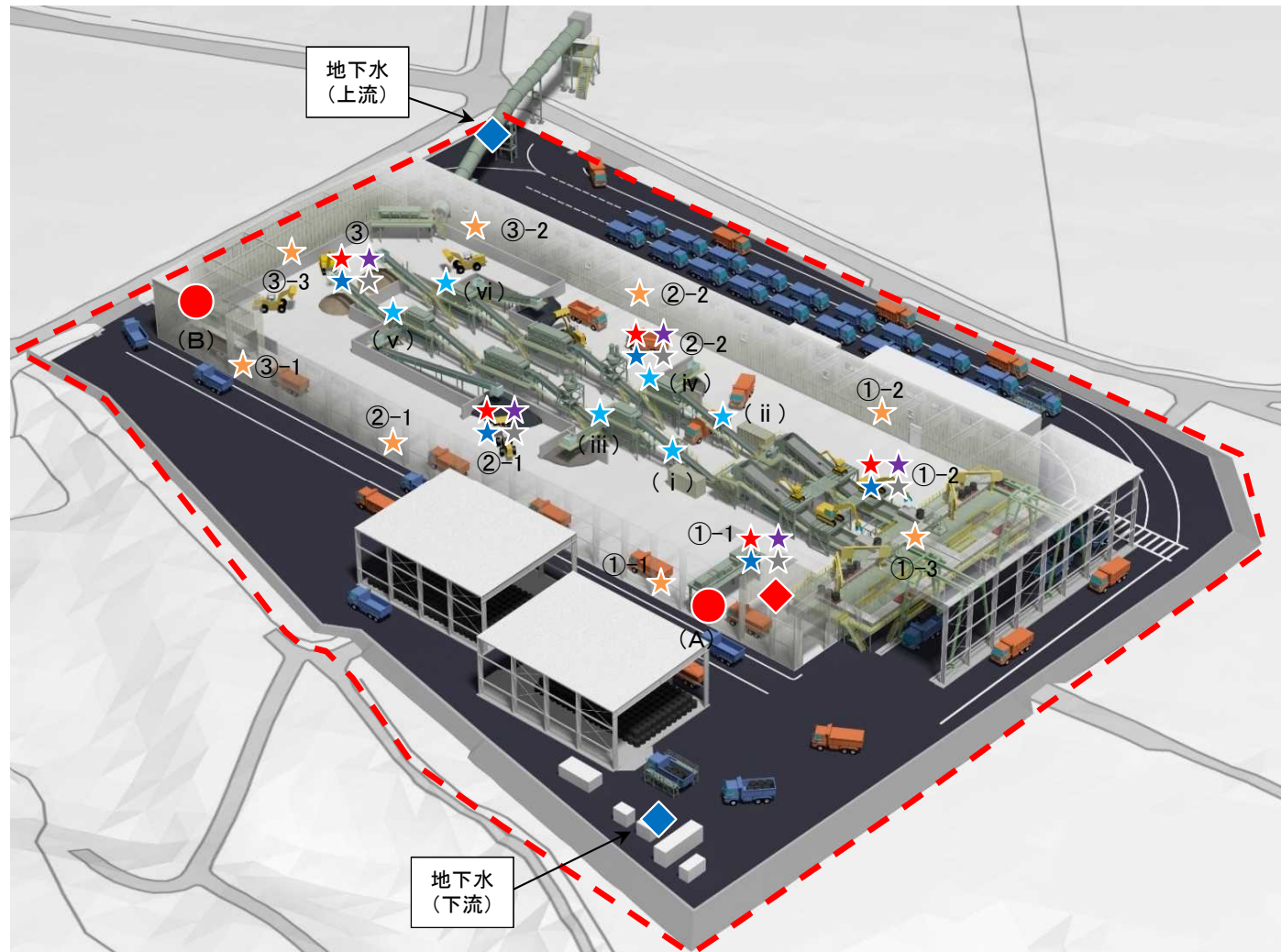


モニタリング等の状況の詳細について

2020年3月
環境省

受入・分別施設のモニタリング結果（月次測定）

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【 凡例 】

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| ◆：地下水中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度 | ◆：排水中の放射能濃度 |
| ★：粉じん濃度 | ★：空間線量率（作業環境） | ★：空気中の放射能濃度 |
| ★：表面汚染密度（床） | ★：表面汚染密度（壁） | ★：表面汚染密度（設備） |
| --- | ---：敷地境界線 | |

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND	27	5.9	ND
2019/8/2 ～2020/2/13	(稼働後) ※	64	17	ND	41	10	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/3～2020/2/10	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①-1	ND	ND
①-2	ND	ND
②-1	ND	ND
②-2	ND	ND
③	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/7 ～2020/2/12 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/14 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①-1	3.9
①-2	3.8
②-1	10
②-2	3.8
③	2.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/5 ～2020/2/20 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
設備	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
	(v) 二次分別設備 (A)	ND
	(vi) 二次分別設備 (B)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/3 ～2020/2/10 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①-1	0.13	0.18
①-2	0.10	0.14
②-1	0.17	0.21
②-2	0.11	0.16
③	0.15	0.21

◆排水中の放射能濃度

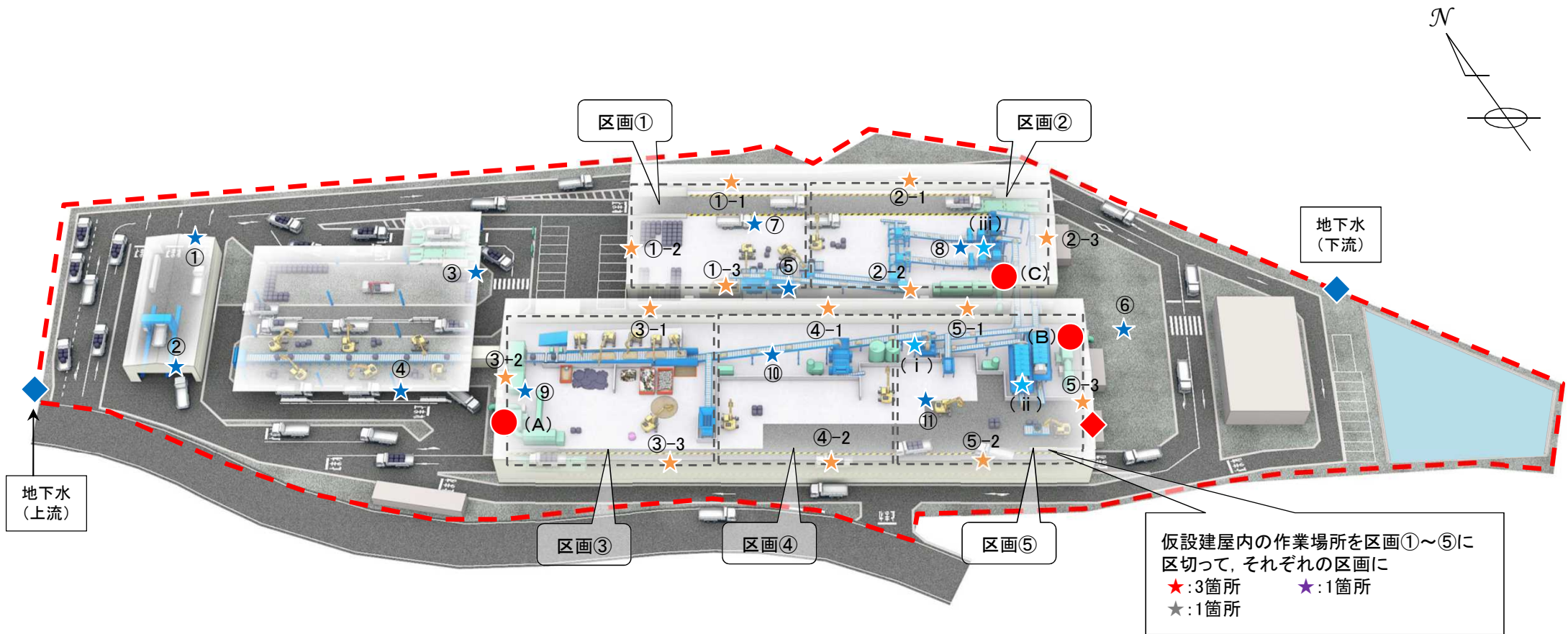
測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/8/2	(稼働後)	ND
2019/10/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

受入・分別施設（大熊②工区 第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



【 凡例 】

- ◆ : 地下水中の放射能濃度等
- ★ : 施設の位置
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- : 敷地境界線
- : 排気中の放射能濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(壁)
- ◆ : 排水中の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)



受入・分別施設（大熊②工区 第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND	11	7.2	ND
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後) ※	17	5.3	ND	16	14	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/2 ～2020/2/6 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.7Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20＋セシウム137の濃度／30≦1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/9 ～2020/2/17 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.20	0.26
②	0.20	0.30
③	0.21	0.42
④	0.19	0.35
⑤	0.16	0.28
⑥	0.17	0.25
⑦	0.30	0.69
⑧	0.17	0.23
⑨	0.13	0.27
⑩	0.15	0.33
⑪	0.21	0.55

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9～2020/2/17	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND～1.6×10 ⁻⁷
④	ND	ND
⑤	ND	ND～1.5×10 ⁻⁷

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/9 ～2020/2/17 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
設備	(i) 改質設備	ND
	(ii) 二次分別設備	ND
	(iii) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/7 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①-1	1.5
①-2	2.2
①-3	2.5
②-1	2.6
②-2	2.3
②-3	2.5
③-1	2.5
③-2	1.7
③-3	2.2
④-1	3.0
④-2	4.2
④-3	5.0
⑤-1	6.9
⑤-2	5.4
⑤-3	5.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

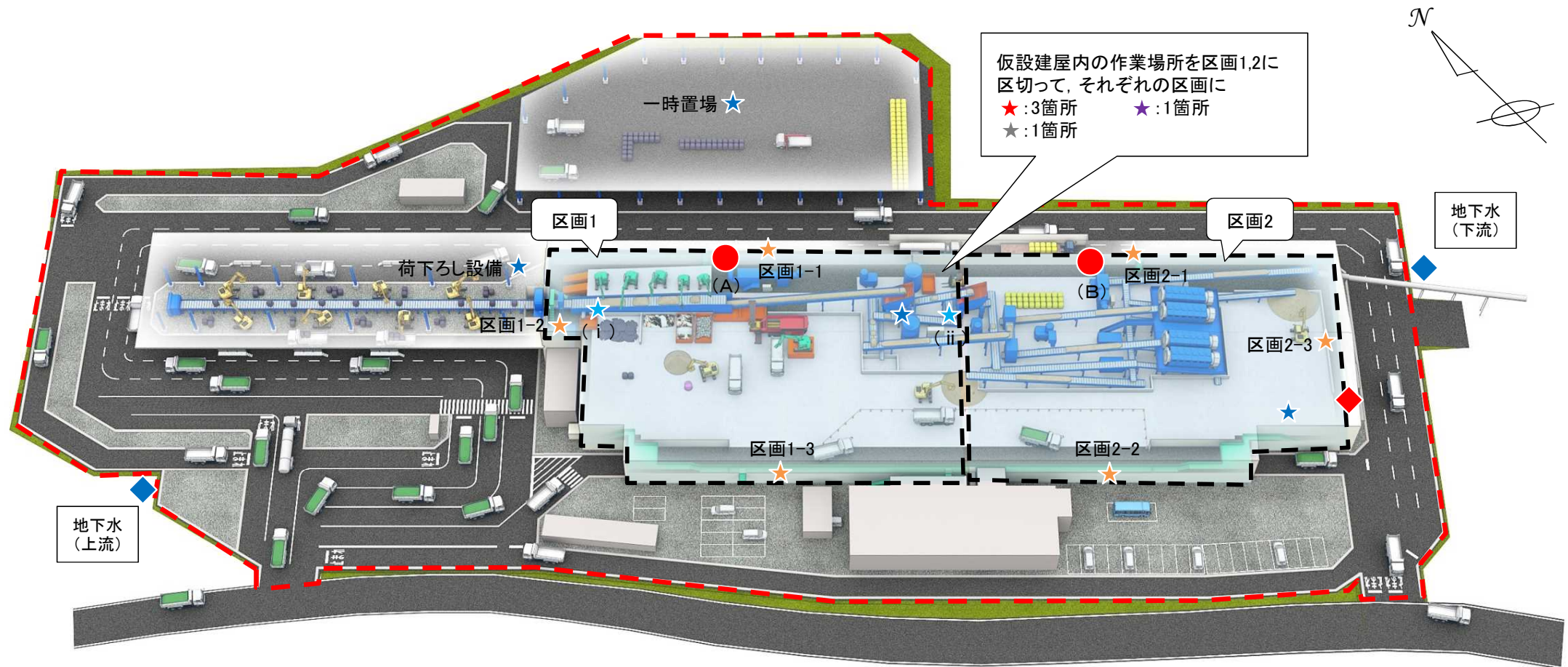
測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/8/22 ～2019/11/22	(稼働後)	ND
2020/1/10	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

受入・分別施設（大熊②工区 第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



★:施設の位置



【凡例】

◆: 地下水中の放射能濃度等

★: 粉じん濃度

★: 表面汚染密度(床)

---: 敷地境界線

●: 排気中の放射能濃度

★: 空間線量率(作業環境)

★: 表面汚染密度(壁)

◆: 排水中の放射能濃度

★: 空気中の放射能濃度

★: 表面汚染密度(設備)

受入・分別施設（大熊②工区 第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND	7.9	6.2	ND
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後) ※	12	17	ND	9.0	10	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/2 ～2020/2/7 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/9 ～2020/2/17 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.11	0.14
区画2	0.16	0.22
荷下ろし設備	0.24	0.36
一時置場	0.17	0.58

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9～2020/2/17	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/9 ～2020/2/17 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/7 粉じん濃度※ (mg/m ³)
区画1-1	1.8
区画1-2	1.3
区画1-3	4.4
区画2-1	2.9
区画2-2	3.2
区画2-3	3.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

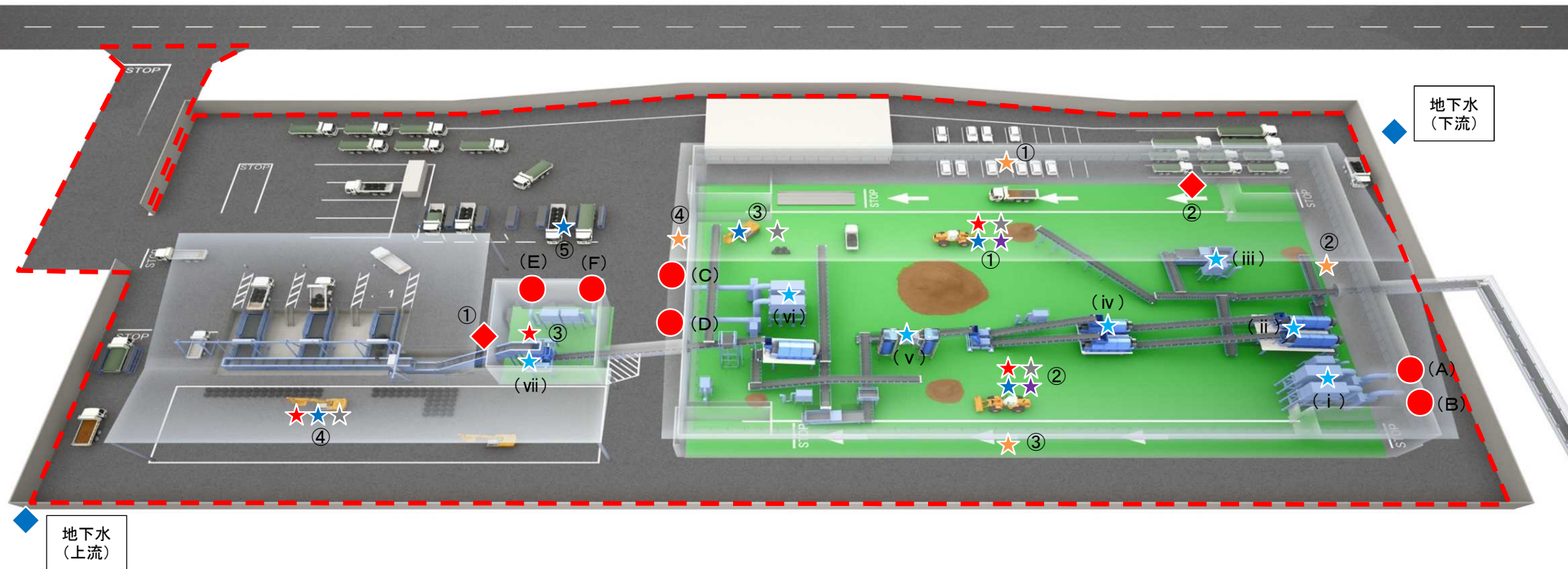
測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/11/18	(稼働後)	ND
2020/1/7	(稼働後)	ND
2020/2/20	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置

【 凡例 】

◆：地下水中の放射能濃度等

●：排気中の放射能濃度

◆：排水中の放射能濃度

★：粉じん濃度

★：空間線量率(作業環境)

★：空気中の放射能濃度

★：表面汚染密度(床)

★：表面汚染密度(壁)

★：表面汚染密度(設備)

---：敷地境界線



受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/6	(稼働前)	17	7.5	ND	17	22	ND
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後) ※	18	15	ND	17	26	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/1 ～2020/2/5 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.8Bq/m³、ドレン部：0.7Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20＋セシウム137の濃度／30≦1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/1 ～2020/2/5 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.12	0.23
②	0.17	0.26
③	0.13	0.23
④	0.16	0.36
⑤	0.15	0.28

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2～2020/2/5	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/5 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	4.5
②	4.9
③	1.9
④	1.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

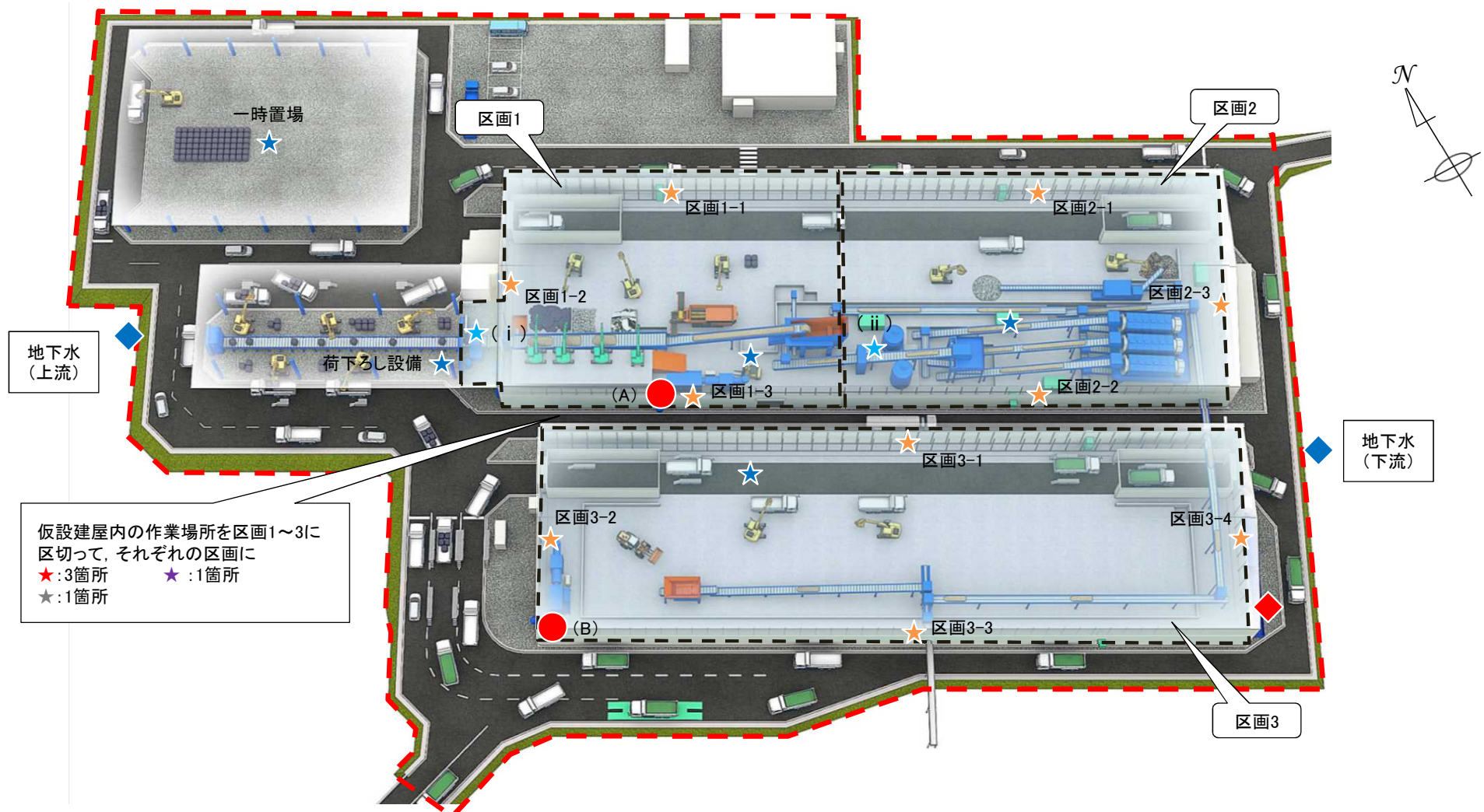
測定地点		2019/8/1 ～2020/2/5 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機②	ND
	(ii) 分別機	ND
	(iii) 集じん機①	ND
	(iv) ヘルトコンベア	ND
	(v) 改質材貯留サイロ	ND
	(vi) 集じん機③	ND
	(vii) 破袋機	ND

表面汚染密度検出下限値：1.00Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

- ◆：地下水中の放射能濃度等
- ★：粉じん濃度
- ★：表面汚染密度（床）
- ：敷地境界線
- ：排気中の放射能濃度
- ★：空間線量率（作業環境）
- ★：表面汚染密度（壁）
- ◆：排水中の放射能濃度
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度（設備）

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/7/24	(稼働前)	12	8.1	ND	14	5.0	ND
2019/8/22 ～2020/2/6	(稼働後) ※	53	17	ND	16	8.8	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/26～2020/2/17	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
区画1	ND	ND
区画2	ND	ND
区画3	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137： 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/23 ～2020/2/5 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m³、ドレン部：0.5Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/23 ～2020/2/5 粉じん濃度※ (mg/m ³)
区画1-1	0.2
区画1-2	3.6
区画1-3	2.6
区画2-1	1.9
区画2-2	3.0
区画2-3	2.1
区画3-1	1.0
区画3-2	1.0
区画3-3	1.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/26 ～2020/2/17 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	区画1	ND
	区画2	ND
	区画3	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
	区画3-1	ND
	区画3-2	ND
	区画3-3	ND
	区画3-4	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/26 ～2020/2/17 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.19	0.29
区画2	0.16	0.20
区画3	0.31	0.41
荷下ろし設備	0.34	0.50
一時置場	0.43	0.77

◆排水中の放射能濃度

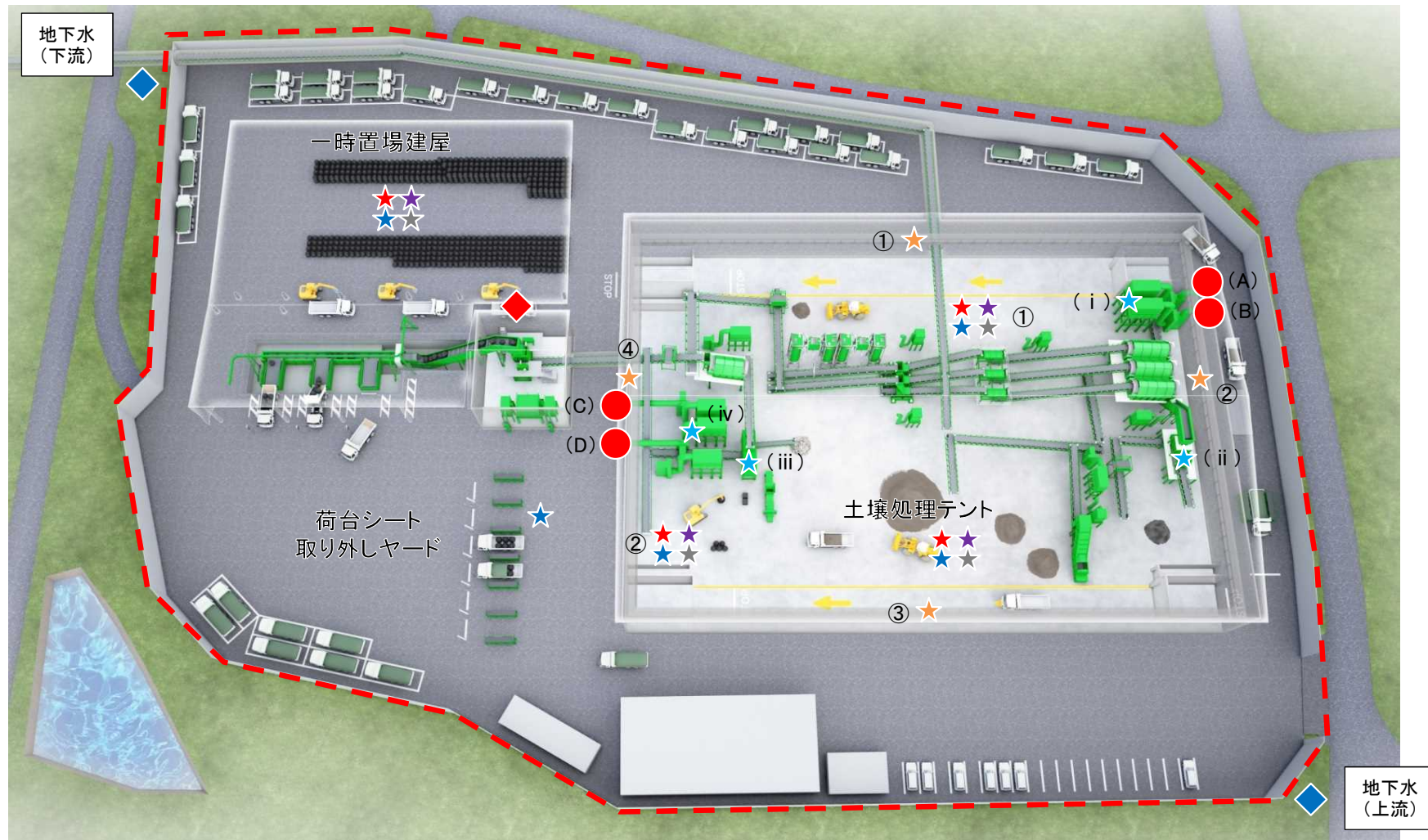
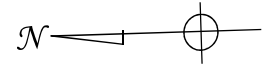
測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/11/5	(稼働後)	ND
2020/2/14	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

◆：地下水中の放射能濃度等

★：粉じん濃度

★：表面汚染密度(床)

---：敷地境界線

●：排気中の放射能濃度

★：空間線量率(作業環境)

★：表面汚染密度(壁)

◆：排水中の放射能濃度

★：空気中の放射能濃度

★：表面汚染密度(設備)

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点 測定項目	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/7/26	(稼働前)	16	20	ND	21	10	ND
2019/8/20 ～2020/2/12	(稼働後)※	17	17	ND	23	17	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/20 ～2020/2/12 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：1.0Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20＋セシウム137の濃度／30≦1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/20 ～2020/2/12 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.28	0.37
②	0.43	0.58
土壌処理テント	0.48	0.63
一時置場建屋	0.39	0.46
荷台シート取り外しヤード	0.56	0.80

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/20～2020/2/12	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND～1.1×10 ⁻⁷
土壌処理テント	ND	ND
一時置場建屋	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/20 ～2020/2/12 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	3.4
②	3.4
土壌処理テント	5.0
一時置場建屋	0.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

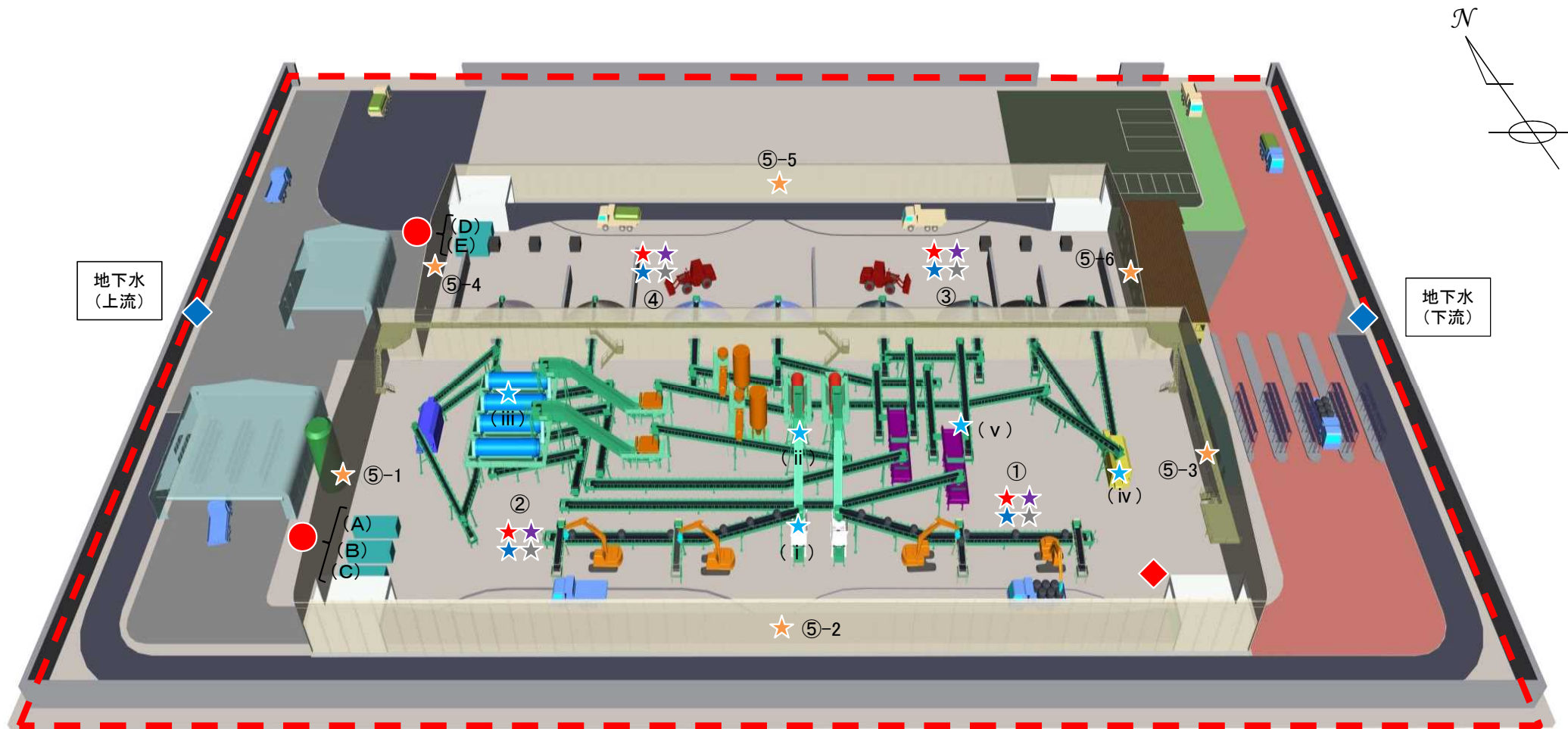
測定地点		2019/8/20 ～2020/2/12 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	土壌処理テント	ND
	一時置場建屋	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機No.14,15	ND
	(ii) ベルトセパレータ	ND
	(iii) パリオリセパレータ	ND
	(iv) 集じん機No.12,13	ND

表面汚染密度検出下限値：0.03Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（双葉①工区 第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【凡例】

◆：地下水中の放射能濃度等

★：粉じん濃度

★：表面汚染密度（床）

---：敷地境界線

●：排気中の放射能濃度

★：空間線量率（作業環境）

★：表面汚染密度（壁）

◆：排水中の放射能濃度

★：空気中の放射能濃度

★：表面汚染密度（設備）

受入・分別施設（双葉①工区 第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND	49	30	ND
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後)※	76	47	ND	38	40	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/1 ～2020/2/3 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.6Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/8 ～2020/2/13 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①受入 東	0.07	0.38
②受入 西	0.07	0.19
③搬出 東	0.06	0.17
④搬出 西	0.12	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/8～2020/2/13	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND～3.0×10 ⁻⁷
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/8 ～2020/2/13 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①受入 東	4.6
②受入 西	8.2
③搬出 東	0.9
④搬出 西	1.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

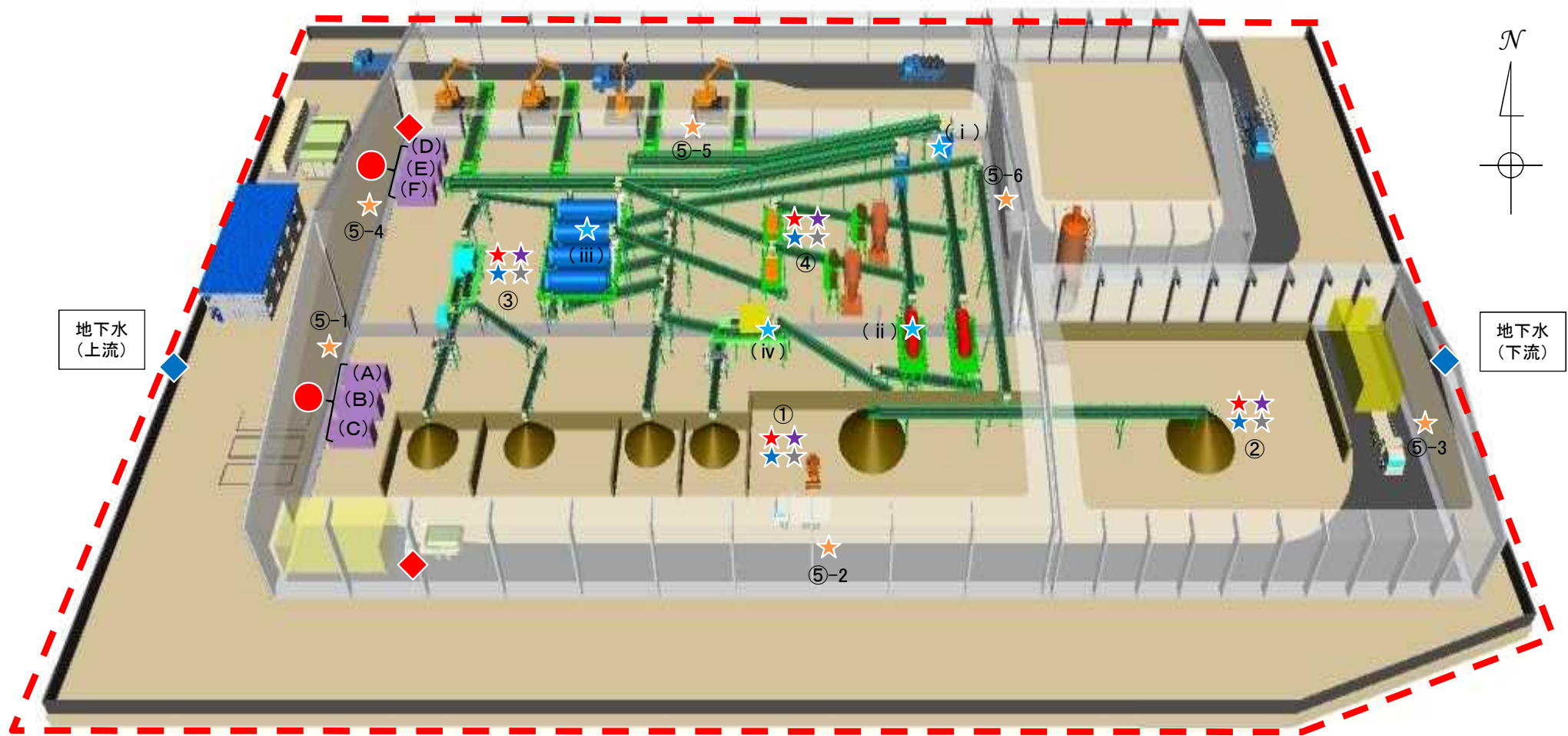
測定地点		2019/8/7 ～2020/2/7 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71Bq/cm²

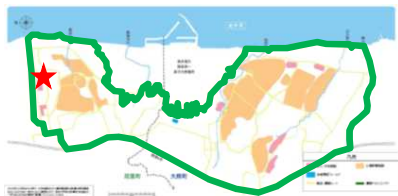
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設（双葉①工区 第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【 凡例 】

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| ◆：地下水中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度 | ◆：排水中の放射能濃度 |
| ★：粉じん濃度 | ★：空間線量率（作業環境） | ★：空気中の放射能濃度 |
| ★：表面汚染密度（床） | ★：表面汚染密度（壁） | ★：表面汚染密度（設備） |
| ---：敷地境界線 | | |

受入・分別施設（双葉①工区 第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	34	9.7	ND	47	12	ND
2019/8/7 ～2020/2/5	(稼働後)※	51	52	ND	45	23	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2～2020/2/6	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①搬出 西	ND	ND
②搬出 東	ND	ND
③受入 西	ND	ND
④受入 東	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³+セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/5 ～2020/2/12 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.6Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20+セシウム137の濃度／30≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/6 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①搬出 西	0.9
②搬出 東	0.4
③受入 西	4.3
④受入 東	3.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/24 ～2020/2/22 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①搬出 西	ND
	②搬出 東	ND
	③受入 西	ND
	④受入 東	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.77Bq/cm²

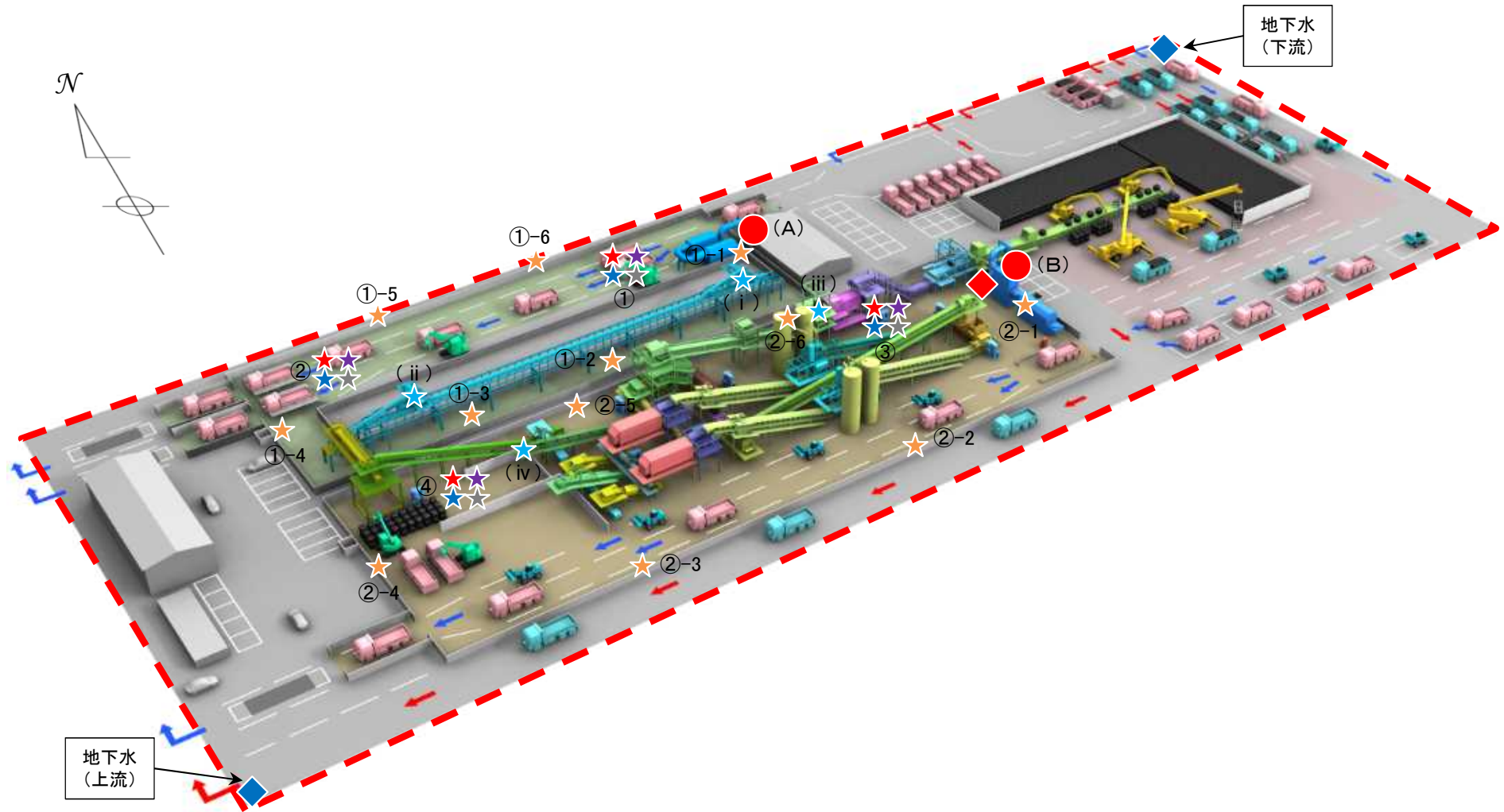
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①搬出 西	0.09	0.15
②搬出 東	0.10	0.12
③受入 西	0.06	0.08
④受入 東	0.06	0.07

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



★：施設の位置



【 凡例 】

◆：地下水中の放射能濃度等

★：粉じん濃度

★：表面汚染密度(床)

---：敷地境界線

●：排気中の放射能濃度

★：空間線量率(作業環境)

★：表面汚染密度(壁)

◆：排水中の放射能濃度

★：空気中の放射能濃度

★：表面汚染密度(設備)

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND	26	12	ND
2019/8/8 ～2020/2/6	(稼働後)※	67	15	ND	45	25	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/8/8 ～2020/2/6 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A -1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A -2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m³、ドレン部：0.9Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度／20＋セシウム137の濃度／30≦1

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/8 ～2020/2/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.11	0.13
②	0.16	0.18
③	0.17	0.19
④	0.16	0.19

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/8 ～2020/2/6 粉じん濃度※ (mg/m ³)
①	4.1
②	3.1
③	4.8
④	1.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/10/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/8～2020/2/6	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①	ND	ND
②	ND	ND
③	ND	ND
④	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/8/8 ～2020/2/6 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmφ-バ-サイ"集合バ"機	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

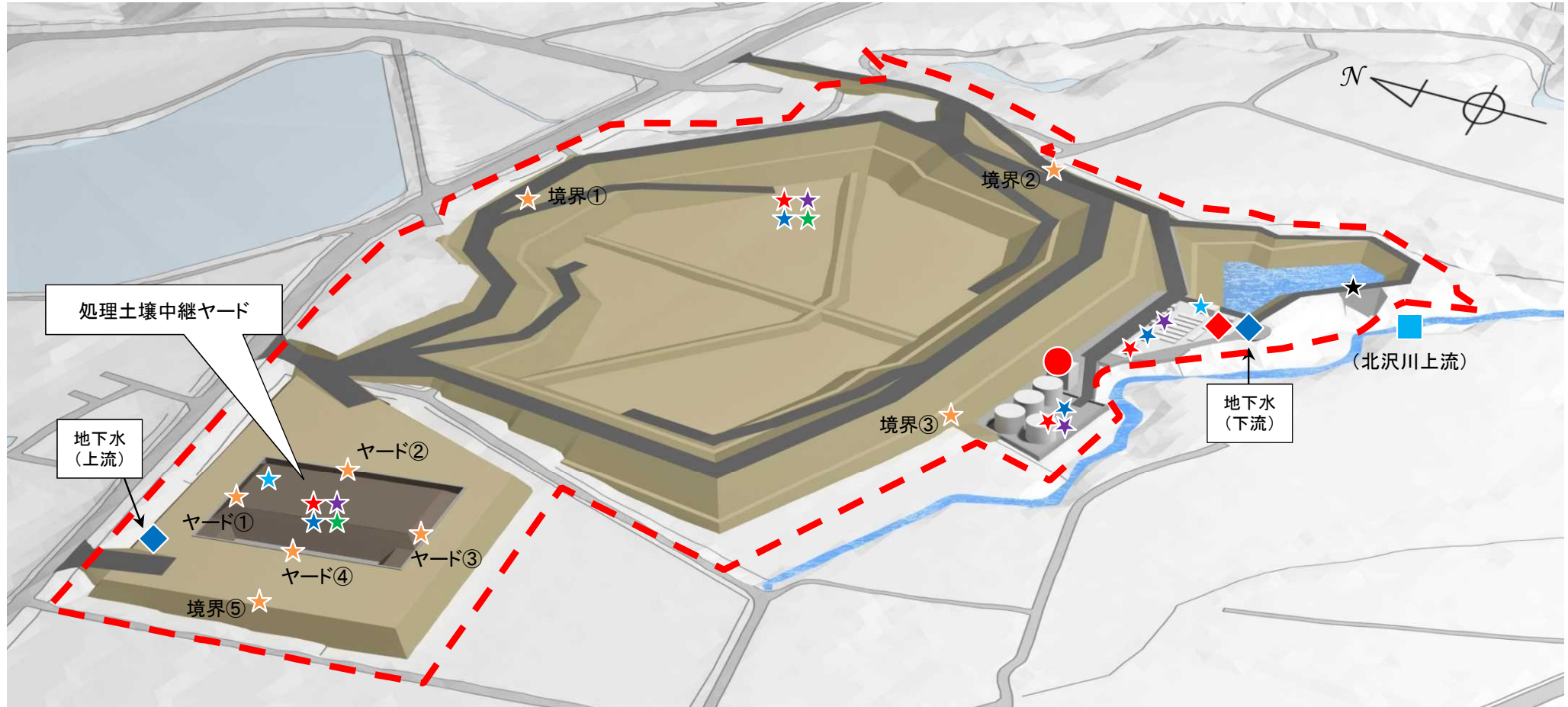
表面汚染密度検出下限値：0.70Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設のモニタリング結果（月次測定等）

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



【凡例】

★：施設の位置

- ◆：地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★：沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★：空間線量率(作業環境)
- ★：表面汚染密度(設備)

- ：地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ：放流先河川の放射能濃度
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度(重機)

- ◆：浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★：粉じん濃度
- ★：表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ：敷地境界線



土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点 測定項目	上流		下流	
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
測定日 2018/7/11 (稼働前)	240	8.1	32	9.5
2019/8/2 ～2020/2/12 (稼働後) ※	220	10	100	7.4

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点 測定項目	上流		下流	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日 2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/8/2 ～2020/2/24 (稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日 測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND
2019/8/28 ～2020/2/18 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日 測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値			
2019/8/1 ～2020/2/12	7.0	7.9	0.9～1.4	13～22	3～10

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/8/1 ～2020/2/24	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/1 ～2020/2/26	841	0.0	4.9	ND	25420

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日 測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2019/8/1 ～2020/2/12	43

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日 測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2019/8/1 ～2020/2/12 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/1 ～2020/2/13 粉じん濃度※ (mg/m³)
貯蔵エリア	1.6
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.3
処理土壌中継ヤード	3.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/1 ～2020/2/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	0.25	0.54
浸出水調整設備	0.31	0.34
浸出水処理設備	0.11	0.14
処理土壌中継ヤード	0.23	0.30

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/1～2020/2/6	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND
浸出水調整設備	ND	ND
浸出水処理設備	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		2019/8/6 ～2020/2/19 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理施設	設備	汚泥脱水機	ND
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	バルコン出口	ND
	重機	タイヤショベル①	ND
		タイヤショベル②	ND
	貯蔵エリア	重機	バックホウ
ローラー①			ND
ブルドーザー①			ND
バックホウ②			ND
ブルドーザー②			ND
バックホウ③			ND
バックホウ④			ND
バックホウ⑤			ND

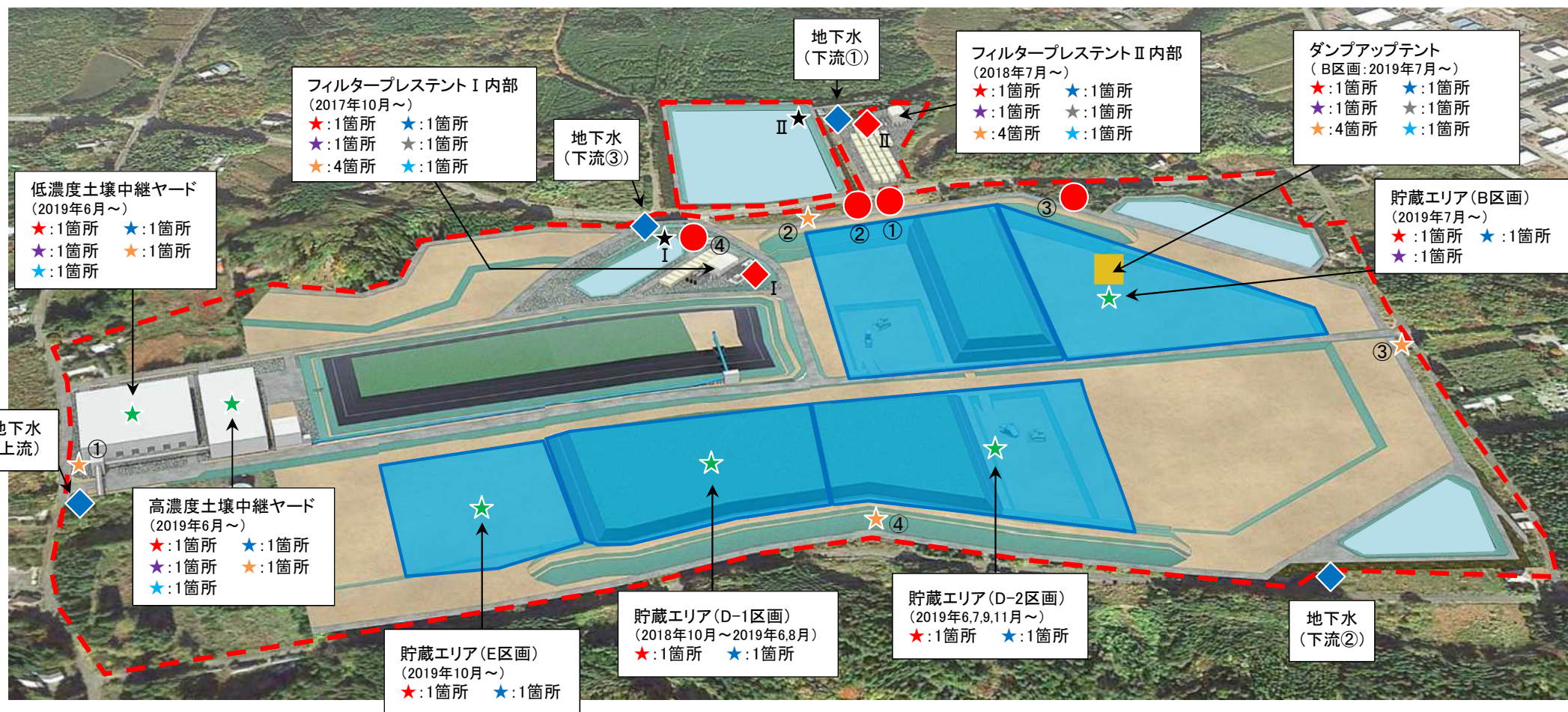
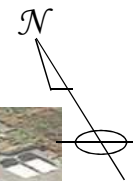
表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）①

■ （次頁参照）



【凡例】

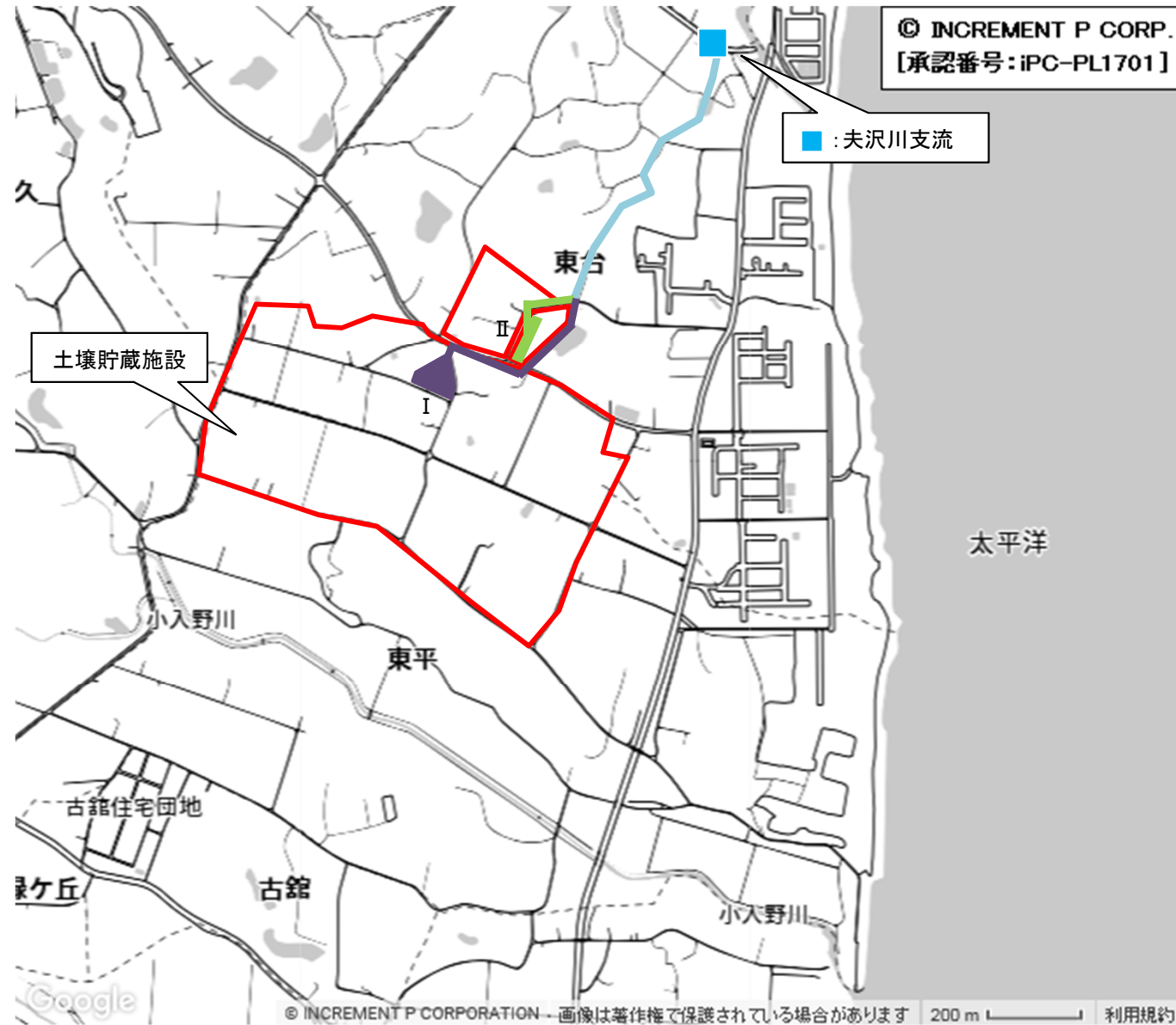
★:施設の位置

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）②



凡例

■ : 河川水観測地点

— : 放流水の流路(浸出水処理施設Ⅰ)

— : 放流水の流路(浸出水処理施設Ⅱ)

土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流①		下流②		下流③	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	2017/10/11（下流③）								
	2018/7/10,11（上流、下流①、②）	13	13	23	13	17	5.7	19	6.5
	2019/8/1								
	～2020/2/6	13	11	24	13	17	8.2	46	18

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点 測定日	測定項目	上流		下流①		下流②		下流③	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/10/11（下流③）	稼働前 稼働後	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2018/7/10,11（上流、下流①、②）									
2019/8/1									
～2020/2/27									

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2018/7/5（稼働前）	ND
	2019/8/19 ～2020/2/21（稼働後）	ND
集排水設備②	2018/10/15（稼働前）	ND
	2019/8/19 ～2020/2/21（稼働後）	ND
集排水設備③	2019/6/26（稼働前）	ND
	2019/8/19 ～2020/2/21（稼働後）	ND
集排水設備④	2017/10/5（稼働前）	ND
	2019/8/19 ～2020/2/21（稼働後）	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定地点	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値			
処理水Ⅰ	2019/8/1 ～2020/2/6	7.3	8.4	ND～2.2	13～24	ND～3
処理水Ⅱ	2019/8/1 ～2020/2/6	7.1	8.5	0.5～3.3	12～25	ND～14

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（0.5mg/L）未満であることを示す。

浮遊物質（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
処理水Ⅰ	2019/8/1 ～2020/2/27	ND	ND
処理水Ⅱ	2019/8/1 ～2020/2/27	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

測定地点	放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
			最小値	最大値		
処理水Ⅰ	2019/8/1 ～2020/2/29	492	0.0	4.9	ND	12102.8
処理水Ⅱ	2019/8/1 ～2020/2/29	1129	0.0	5.0	ND	33539.1

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（5.85Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定地点	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
沈砂池Ⅰ	2019/8/1 ～2020/2/6	11
沈砂池Ⅱ	2019/8/1 ～2020/2/6	32

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/10（稼働前）		ND	5.0
2019/8/1（稼働後）		ND	2.4
2019/9/5（稼働後）		ND	2.6
2019/10/3（稼働後）		ND	2.7
2019/11/7（稼働後）		ND	1.2
2019/12/5（稼働後）		ND	ND

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/1 ～2020/2/7 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンブアップテント（B区画）	1.2
フィルタープレセントⅠ	0.4
フィルタープレセントⅡ	0.3
低濃度土壌中継ヤード	4.0
高濃度土壌中継ヤード	0.8
貯蔵エリア（B区画）	1.0
貯蔵エリア（D-1区画）	0.4
貯蔵エリア（D-2区画）	0.8
貯蔵エリア（E区画）	2.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/7 ～2020/2/19 空間線量率 (μSv/h)
ダンブアップテント（B区画）	0.25 0.41
フィルタープレセントⅠ	0.21 0.45
フィルタープレセントⅡ	0.47 1.38
低濃度土壌中継ヤード	0.33 0.56
高濃度土壌中継ヤード	0.53 1.30
貯蔵エリア（B区画）	2.16 3.40
貯蔵エリア（D-1区画）	0.76 0.76
貯蔵エリア（D-2区画）	0.45 0.92
貯蔵エリア（E区画）	0.36 0.98

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/7～2020/2/19	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンブアップテント（B区画）	ND	ND
フィルタープレセントⅠ	ND	ND
フィルタープレセントⅡ	ND	ND
低濃度土壌中継ヤード	ND	ND
高濃度土壌中継ヤード	ND	ND
貯蔵エリア（B区画）	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁶Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻²＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≤1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

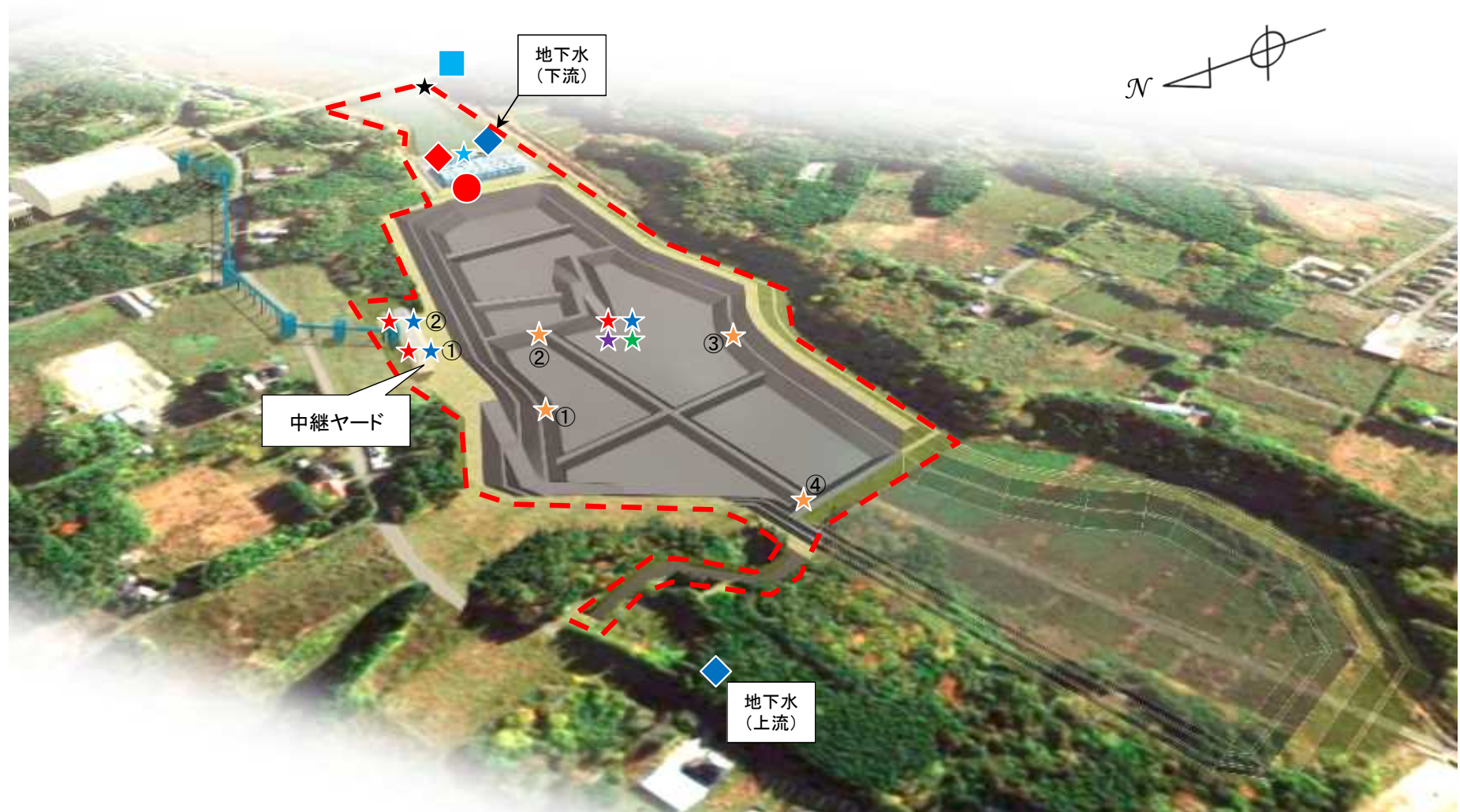
測定地点		2019/8/7 ～2020/2/19 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
ダンブアップテント（B区画）	床	B-① ND B-② ND B-③ ND B-④ ND
	壁	B-① ND B-② ND B-③ ND B-④ ND
	設備	ベルトコンベア ND I-① ND I-② ND I-③ ND I-④ ND
	重機	フィルタープレスⅠ ND フィルタープレスⅡ ND
フィルタープレセントⅡ	床	① ND ② ND ③ ND ④ ND
	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND
	設備	フィルタープレスⅡ ND
	重機	① ND ② ND ③ ND ④ ND
低濃度土壌中継ヤード	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND
	設備	ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND バックホウ② ND ホイールローダー ND
	重機	バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND
	高濃度土壌中継ヤード	壁 ① ND ② ND ③ ND ④ ND 設備 ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND ホイールローダー ND バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND
貯蔵エリア（B区画）	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND
	設備	ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND ホイールローダー ND バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND
	重機	バックホウD-① ND ブルドーザーD-① ND バックホウD2-① ND バックホウD2-② ND バックホウD2-③ ND ローラーD2 ND ブルドーザーD2-① ND ブルドーザーD2-② ND スクレーパーブドーザーD2 ND キヤタダンブD2 ND
	高濃度土壌中継ヤード	壁 ① ND ② ND ③ ND ④ ND 設備 ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND ホイールローダー ND バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND
貯蔵エリア（E区画）	壁	① ND ② ND ③ ND ④ ND
	設備	ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND ホイールローダー ND バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND
	重機	バックホウD-① ND ブルドーザーD-① ND バックホウD2-① ND バックホウD2-② ND バックホウD2-③ ND ローラーD2 ND ブルドーザーD2-① ND ブルドーザーD2-② ND スクレーパーブドーザーD2 ND キヤタダンブD2 ND
	高濃度土壌中継ヤード	壁 ① ND ② ND ③ ND ④ ND 設備 ベルトコンベア出口 ND バックホウ① ND ホイールローダー ND バックホウB-① ND バックホウB-② ND ローラーB ND ブルドーザーB-① ND スクレーパーブドーザーB ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



☆:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(設備)

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(重機)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界)
- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/9/18,25 2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働前) (稼働後)※	15 22	7.9 8.4	90 290	130 170

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18,25 2019/8/1 ～2020/2/27	(稼働前) (稼働後)	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 2019/8/1 ～2020/2/27	(稼働前) (稼働後)	ND ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値				
2019/8/1 ～2020/2/6	7.5	8.1		ND～1.5	7.8～20	2～13

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（0.5mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/8/1 ～2020/2/27		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/1 ～2020/2/29	1397	0.0	4.9	ND	36160.4

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2019/8/1 ～2020/2/6		23

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18 2019/8/1 ～2019/9/5	(稼働前) (稼働後)	ND ND	1.2 ND
2019/10/3 2019/11/7 2019/12/5	(稼働後) (稼働後) (稼働後)	ND ND ND	1.0 ND 1.0
2020/1/9 ～2020/2/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/7 粉じん濃度※ (mg/m³)
貯蔵エリア	2.7
中継ヤード①	2.4
中継ヤード②	3.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/1 ～2020/2/7 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	0.26	0.64
中継ヤード①	0.20	0.33
中継ヤード②	0.21	0.33

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2～2020/2/5	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★貯蔵施設境界、★設備、★重機）

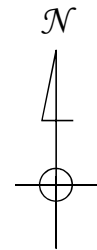
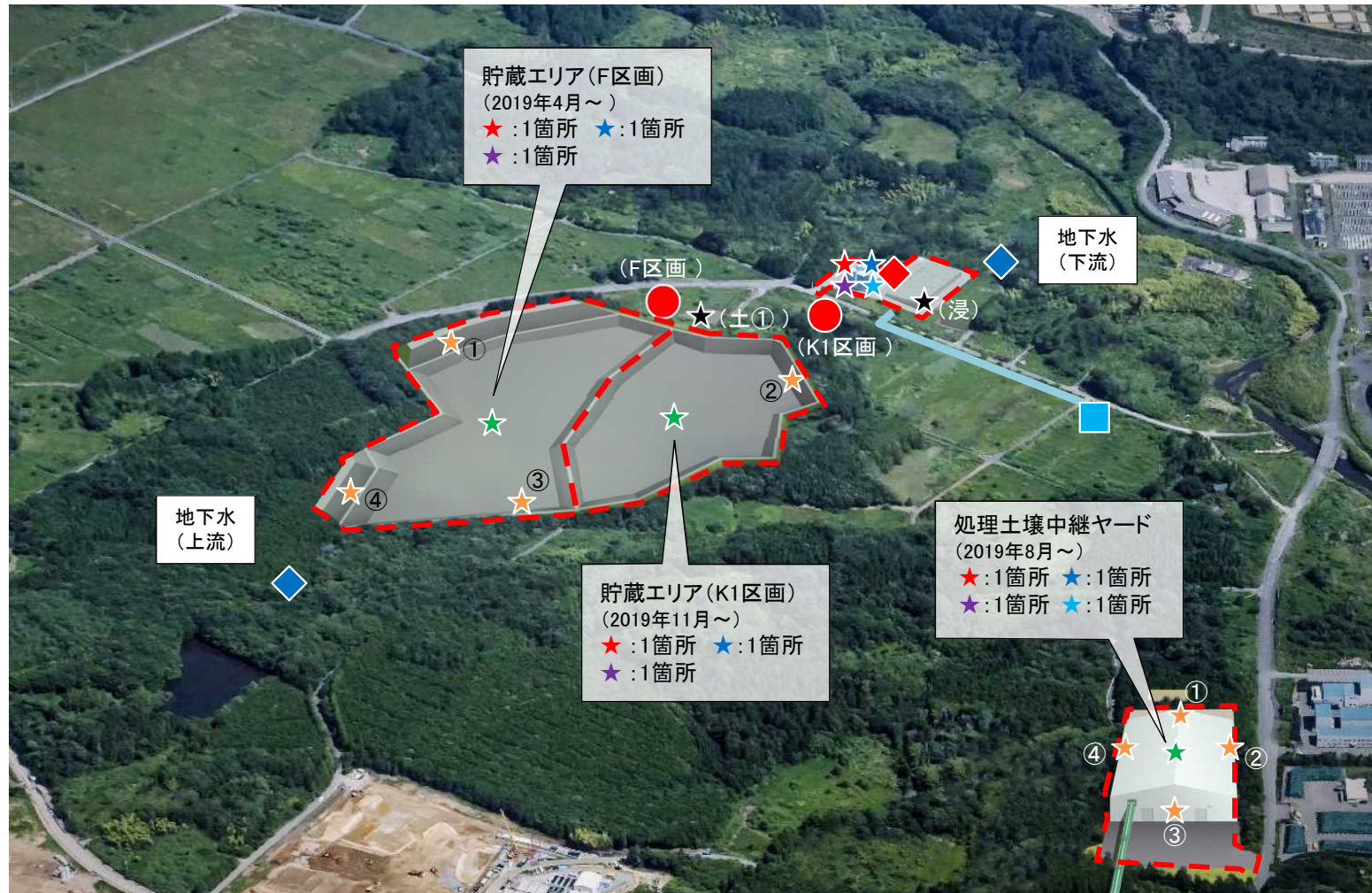
測定地点		2019/8/1 ～2020/2/5 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽
		濁水処理設備
		脱水プラント
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー
		バックホウ
		タイヤローラー
		振動ローラー

表面汚染密度検出下限値：1.00Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



★:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(設備)

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(重機)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/4/18 ～2020/2/13	(稼働前) (稼働後)※	21 9.3	11 11	33 44	14 31

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 ～2020/2/27	(稼働前) (稼働後)	ND ND	ND ND	ND ND	ND ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
貯蔵エリア (F区画)	2019/4/18	(稼働前)	ND
	2019/8/8 ～2020/2/13	(稼働後)	ND
貯蔵エリア (K1区画)	2019/11/28	(稼働前)	ND
	2019/12/12 ～2020/2/13	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値				
2019/8/6 ～2020/2/13	7.1	8		ND～1	7～20	ND～3

pH基準：5.8～8.6、BOD基準：60mg/L、COD基準：90mg/L、SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

浮遊物質（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/8/1 ～2020/2/27		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/8 ～2020/2/25	755	0.0	3.0	ND	24363.7

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
沈砂池（土①）	2019/8/6 ～2020/2/13		17
沈砂池（浸）	2019/8/6 ～2020/2/13		11

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18 (稼働前)		ND	ND
2019/8/6 (稼働後)		ND	ND
2019/9/12 (稼働後)		ND	2.4
2019/10/9 ～2020/2/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/6 ～2020/2/13 粉じん濃度※ (mg/m³)
貯蔵エリア（F区画）	0.3
貯蔵エリア（K1区画）	0.4
浸出水処理施設	1.2
処理土壌中継ヤード	3.7

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/26 ～2020/2/21 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア（F区画）	0.70	1.61
貯蔵エリア（K1区画）	1.15	1.22
浸出水処理施設	0.51	0.59
処理土壌中継ヤード	0.53	0.79

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/6～2020/2/13	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア（F区画）	ND	ND
貯蔵エリア（K1区画）	ND	ND
浸出水処理施設	ND	ND
処理土壌中継ヤード	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻²Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻²Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★貯蔵施設境界、★設備、★重機）

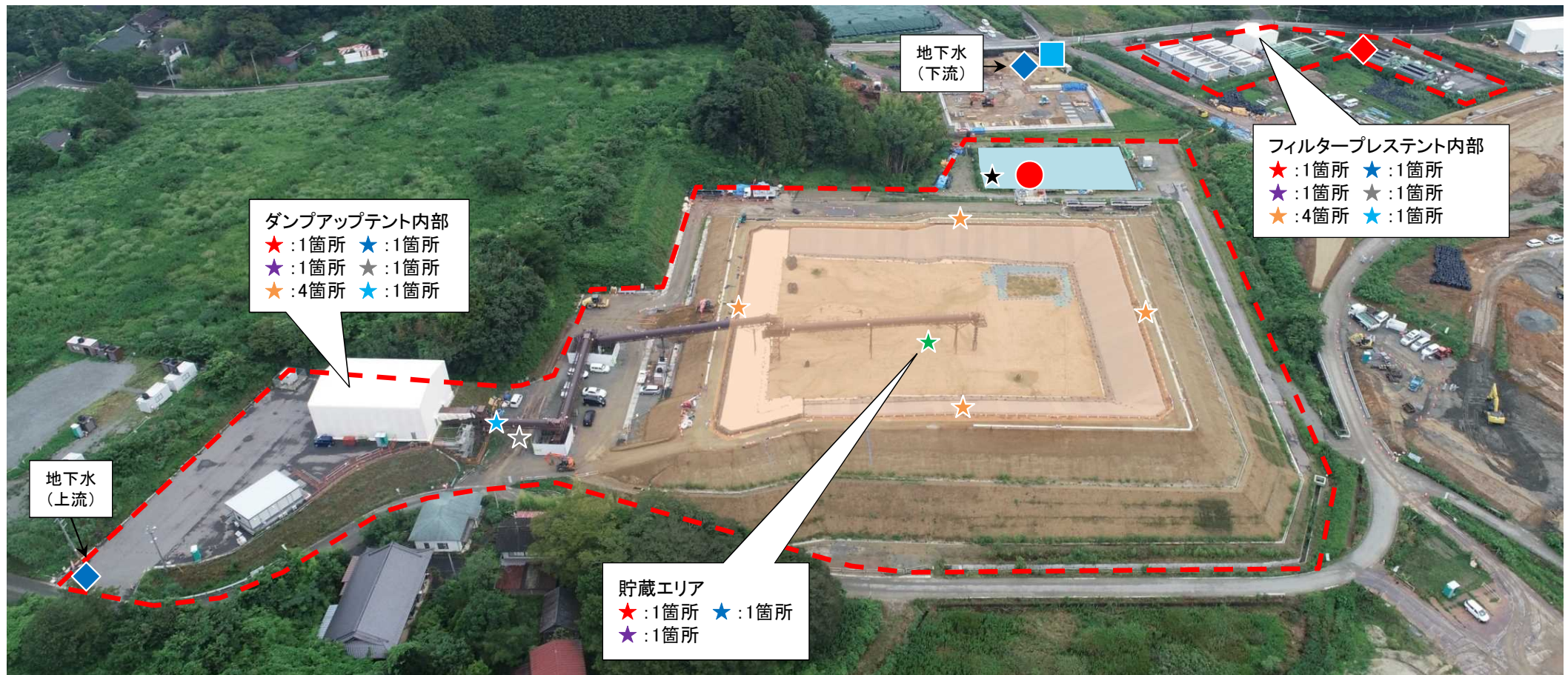
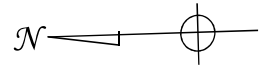
測定地点		2019/8/26 ～2020/2/21 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置
処理土壌中継ヤード	境界	境界①
		境界②
		境界③
		境界④
	設備	集じん機
		バックホウA
		バックホウA-①
		バックホウA-②
貯蔵エリア（F区画）	重機	ローラーA
		ブルドーザーA-②
		バックホウB-①
		バックホウB-②
貯蔵エリア（K1区画）	重機	ローラーB
		ブルドーザーB

表面汚染密度検出下限値：0.52Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定地点（月次測定等）



☆:施設の位置



【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質濃度
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ☆: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ☆: 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2017/11/23	(稼働前)	13	21	17	9.4
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後) ※	18	18	20	10

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/23	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/8/1 ～2020/2/27	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7	(稼働前)	ND
2019/8/2 ～2020/2/12	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値				
2019/8/1 ～2020/2/6	7.6	8.3	1.4～4.2	9.8～58	1～6	

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/8/1 ～2020/2/20		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/8 ～2020/2/13	197	0.1	4.8	ND	6752

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2019/8/1 ～2020/2/6		39

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2	(稼働前)	ND	ND
2019/8/1 ～2020/2/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/6 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンプアップテント	1.2
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/5 ～2020/2/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンプアップテント	0.14	0.18
フィルタープレセント	0.12	0.19
貯蔵エリア中央	0.24	1.54

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2～2020/2/6	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンプアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		2019/8/21 ～2020/2/22 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンプアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
貯蔵エリア	北側(壁)	ND
	設備	ND
	重機①	ND
	ベルトコンベア	ND
	バルコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定地点（月次測定等）



☆:施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ☆: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率	塩化物イオン濃度	電気伝導率	塩化物イオン濃度
		(mS/m)	(mg/L)	(mS/m)	(mg/L)
2018/9/10	(稼働前)	100	6.8	19	11
2019/8/7	(稼働後) ※	92	14	17	10

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/8/7	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度
		(Bq/L)
2018/9/10	(稼働前)	ND
2019/8/2	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	水素イオン濃度		生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
	最小値	最大値	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
2019/8/7	7.4	8.1	1.7～5.8	24～53	ND～7

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
		(Bq/L)	(Bq/L)
2019/8/7		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/1					
～2020/2/28	320	0.0	3.2	ND	11112

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2019/8/7		14

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	ND	ND
2019/8/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/6 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンブアップテント	1.9
フィルタープレセント	0.2
貯蔵エリア	1.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/2 ～2020/2/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンブアップテント	0.30	0.36
フィルタープレセント	0.21	0.34
貯蔵エリア	0.65	1.53

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2～2020/2/6	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵エリア・壁、★設備、★重機）

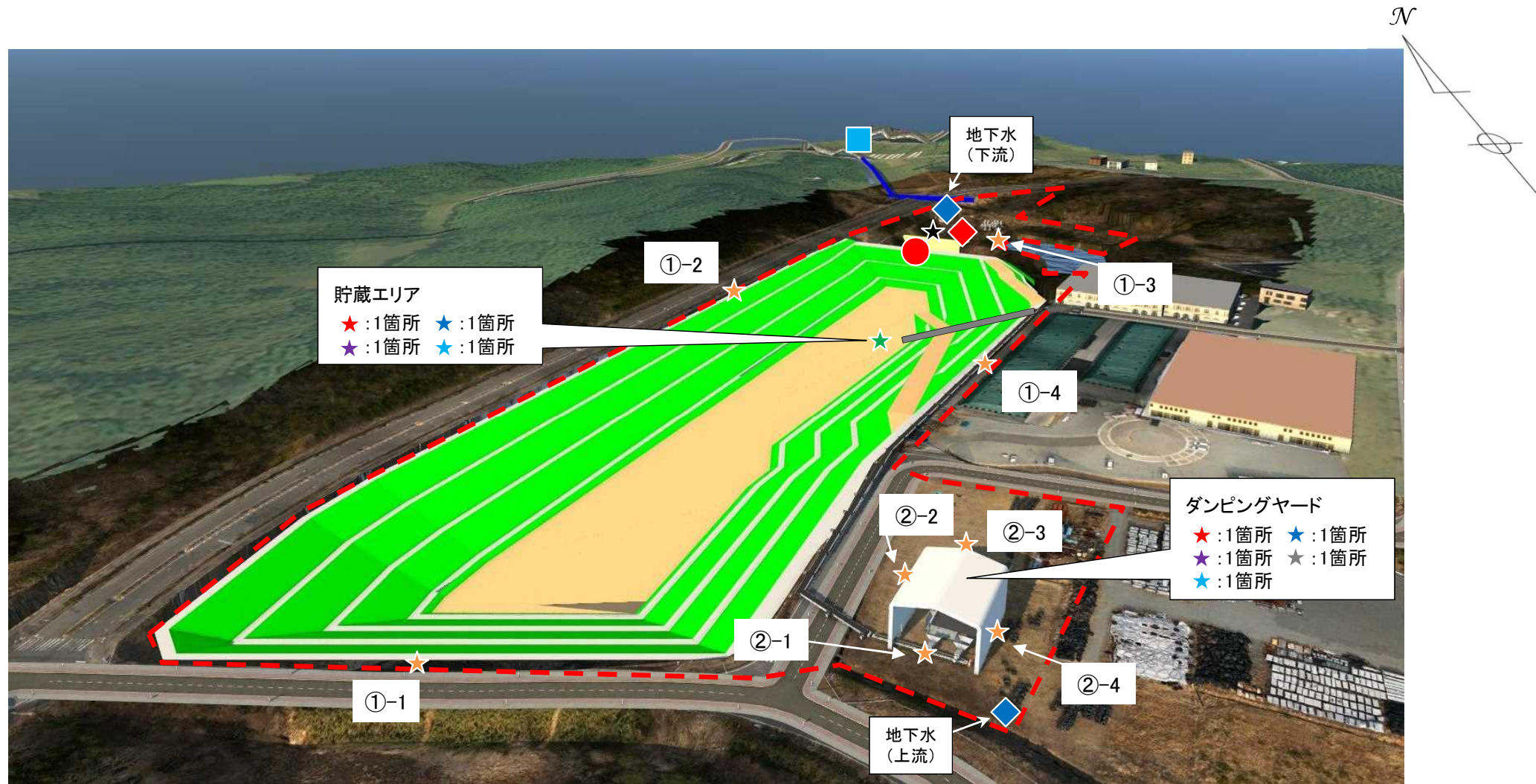
測定地点		2019/8/24 ～2020/2/22 表面汚染密度 (Bq/cm²)
ダンブアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
フィルタープレセント	設備	ND
	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
貯蔵エリア	北側（壁）	ND
	設備	ND
	床（ベルトコンベア直下）	ND
	境界（東側）	ND
	境界（西側）	ND
	境界（南側）	ND
	境界（北側）	ND
	設備（ベルトコンベア）	ND
	重機	ND

表面汚染密度検出下限値：0.79Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



☆: 施設の位置

【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/5/8	(稼働前)	61	8	18	10
2019/8/9 ～2020/2/7	(稼働後) ※	96	9.0	24	12

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/5/8	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/8/1 ～2020/2/20	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21	(稼働前)	ND
2019/8/9 ～2020/2/7	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値			
2019/8/9 ～2020/2/7	7.6	8.1	ND～2	7～34	ND～1

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

浮遊物質（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/8/1 ～2020/2/20	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/8/1 ～2020/2/29	736	0.0	3.0	ND	20965.7

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2019/8/9 ～2020/2/7		24

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24	(稼働前)	ND	ND
2019/8/9 ～2020/10/9	(稼働後)	ND	ND
2019/11/11	(稼働後)	ND	1.1
2019/12/6 ～2020/2/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/9 ～2020/2/7 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンピングヤード	0.8
貯蔵エリア	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/8/9 ～2020/2/ 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンピングヤード	0.30	0.34
貯蔵エリア	0.24	0.76

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/9～2020/2/7	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND	ND
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

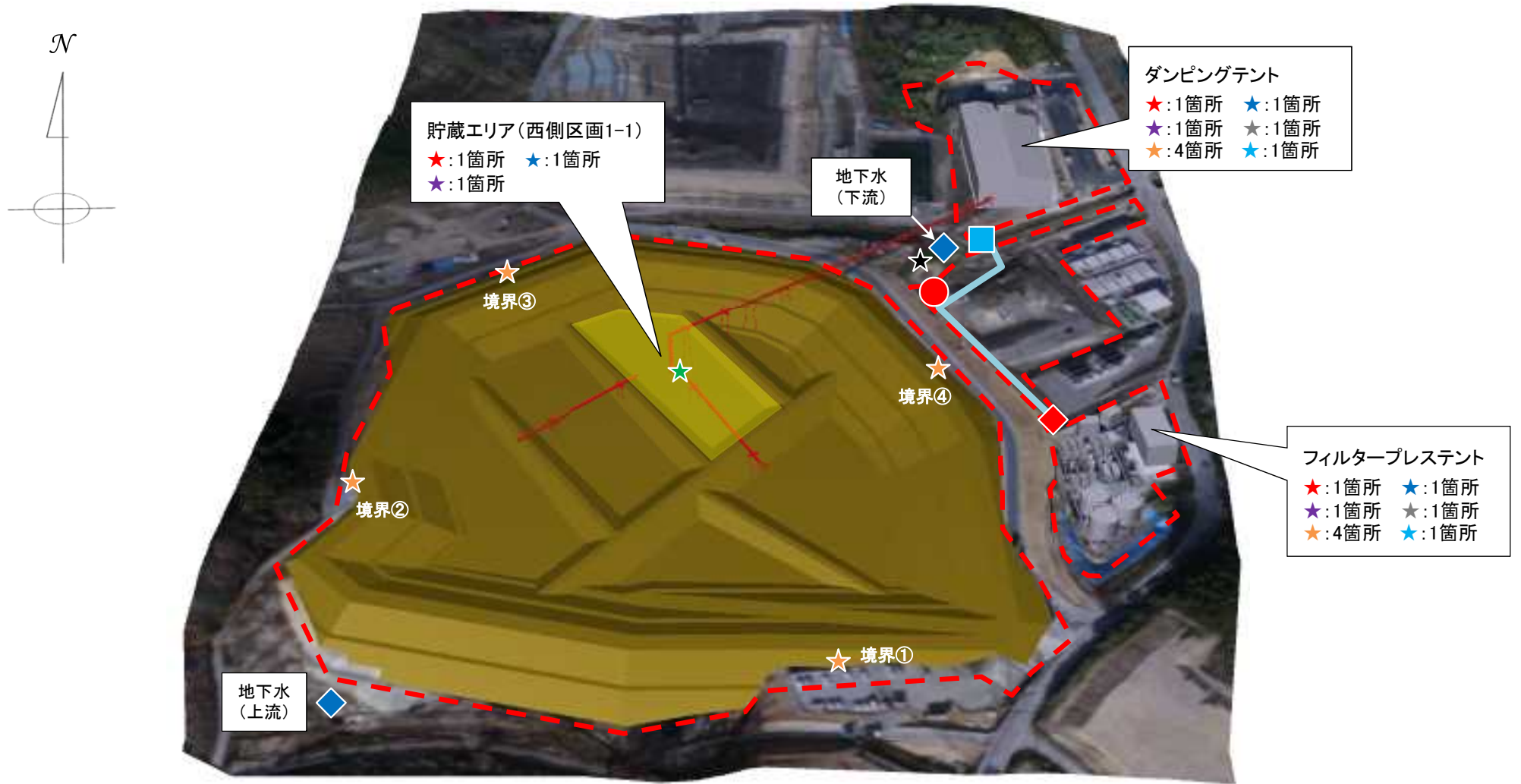
測定地点			2019/8/9 ～2020/2/7 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①-1		ND
	①-2		ND
	①-3		ND
	①-4		ND
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
貯蔵エリア	床		ND
			ND
	設備	トラックホッパー	ND
		バックホウ	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
			ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）



☆:施設の位置



【凡例】

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線

- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ☆: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)

- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度(床)
- ★: 表面汚染密度(重機)

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）

◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/12/24	(稼働前)	18	8.1	22	7.8
2020/1/29	(稼働後)※ ～2020/2/18	16	17	98	17

※期間中の最大値を示す。

◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点		上流		下流	
測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/24	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2020/1/7	(稼働後) ～2020/2/25	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/12/20	(稼働前)	ND
2020/1/15	(稼働後) ～2020/2/12	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目		水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値					
2020/1/31 ～2020/2/18	7.3	7.6			1.3～3.2	6.5～10	ND～4

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

浮遊物質質量（SS）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2020/1/22		ND	ND
～2020/2/25			

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流 回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/1/20					
～2020/2/26	56	0.0	3.0	ND	1309

濁度管理値：5以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/17	(稼働前)	ND	ND
2020/1/31	(稼働後) ～2020/2/18	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度／60＋セシウム137の濃度／90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/23 ～2020/2/18 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンピングテント	0.2
フィルタープレセント	0.3
ベルトコンベア落とし口	ND

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

★空間線量率（作業環境）

測定地点	2020/1/23 ～2020/2/20 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンピングテント	0.17	0.18
フィルタープレセント	0.13	0.14
貯蔵エリア西側1-1	0.65	1.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/23～2020/2/18	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
ベルトコンベア落とし口	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0×10⁻⁷Bq/cm³，セシウム137：1.0×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度／2×10⁻³＋セシウム137の濃度／3×10⁻³≦1

表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		2020/1/31 ～2020/2/20 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界（西側）	境界①	ND
	境界②	ND
	境界③	ND
	境界④	ND
ダンピングテント	壁	
	北側	ND
	東側	ND
	南側	ND
	西側	ND
フィルタープレセント	床	ND
	設備	
	ベルトコンベア	ND
	壁	
	北側	ND
貯蔵エリア西側1-1	東側	ND
	南側	ND
	西側	ND
	床	ND
	設備	
	フィルタープレス	ND
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値：0.56 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

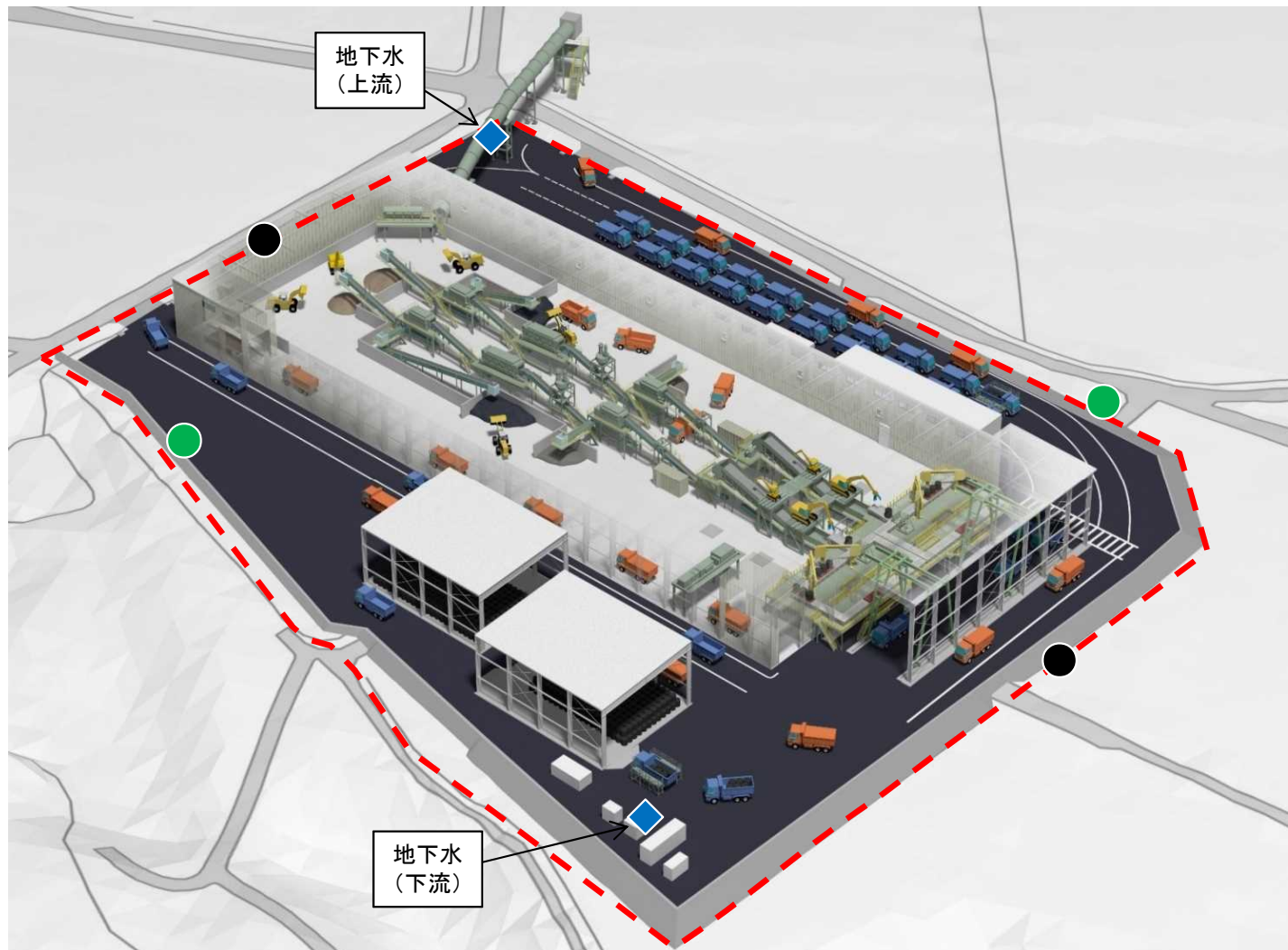
限度：40Bq/cm²

受入・分別施設のモニタリング結果（年次測定）

以下の施設については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第15回）でモニタリング結果を報告して以降、年次測定は実施していないため、今回は報告対象外。

- ・大熊②工区 第2期
- ・大熊③工区
- ・双葉①工区 第1期、第2期

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



凡例

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水検査項目

---：敷地境界線

受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル（dB）	
		北側	南側
2018/7/10	（稼働前）	54	56
2020/2/14	（稼働後）	60	54

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。

福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点	振動レベル（dB）	
		北側	南側
2018/7/10	（稼働前）	31	30未満
2020/2/14	（稼働後）	30未満	30未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。

福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2018/7/10	（稼働前）	11（風上）	14（風下）
2019/12/4	（稼働後）	10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。

福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	不検出	ND	0.0019	0.120	ND
	2019/12/3	（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	（稼働前）	不検出	ND	0.0003	0.025	ND
	2019/12/3	（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
			0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	0.030	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/10	（稼働前）	0.003	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

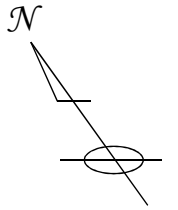
測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
			1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/10	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/3	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			1以下
上流	2018/7/10	（稼働前）	23
	2019/12/3	（稼働後）	0.064
下流	2018/7/10	（稼働前）	2.7
	2019/12/3	（稼働後）	0.1

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊②工区 第1期）のモニタリング測定地点（年次測定）



地下水
(下流)

地下水
(上流)

凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線

★ : 施設の位置



受入・分別施設（大熊②工区 第1期）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
			北側	南側
2017/7/7	(稼働前)		64	57
2019/10/2	(稼働後)		74	70

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
			北側	南側
2017/7/7	(稼働前)		31	35
2019/10/2	(稼働後)		56	68

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
			西側	東側
2017/7/7	(稼働前)		12 (風下)	12 (風上)
2019/10/2	(稼働後)		10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日		地下水環境基準				
上流	2017/7/7	(稼働前)	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
	2019/10/3	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/10/3	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準				
上流	2017/7/7	(稼働前)	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
	2019/10/3	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/10/3	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準				
上流	2017/7/7	(稼働前)	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

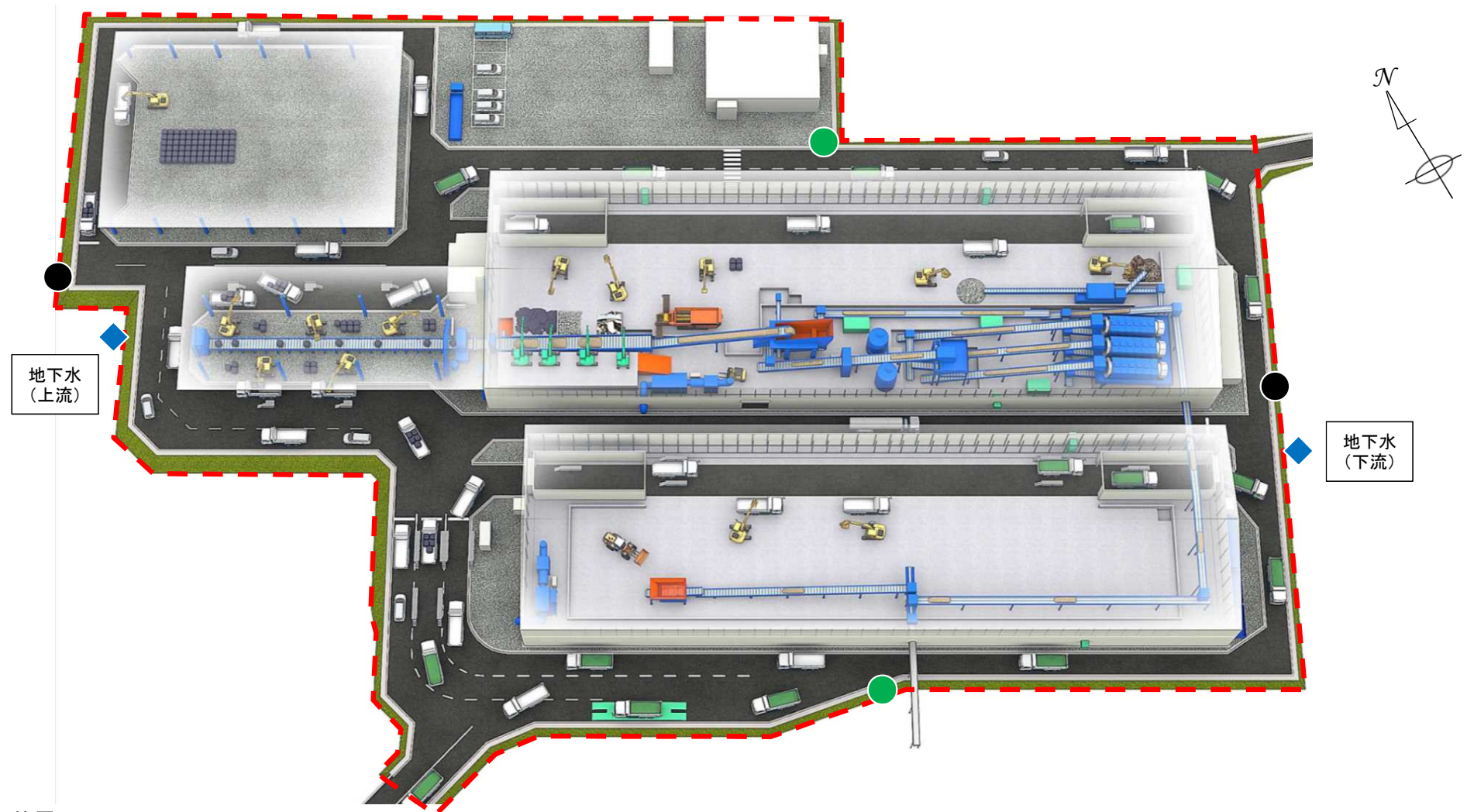
測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準				
上流	2017/7/7	(稼働前)	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準				
上流	2017/7/7	(稼働前)	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/7/7	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/10/3	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		地下水環境基準
上流	2017/7/7	(稼働前)	1以下
	2019/10/3	(稼働後)	0.058
下流	2017/7/7	(稼働前)	0.057
	2019/10/3	(稼働後)	0.058

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



【凡例】

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水検査項目

---：敷地境界線

受入・分別施設（大熊④工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル（dB）	
		北側	南側
2019/7/24	（稼働前）	54	55
2019/9/6	（稼働後）	62	72

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点	振動レベル（dB）	
		北側	南側
2019/7/24	（稼働前）	27	37
2019/9/6	（稼働後）	29	52

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2019/8/1	（稼働前）	10未満（風上）	10未満（風下）
2019/9/6	（稼働後）	10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	ガドリウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24	（稼働前）	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/7/24	（稼働前）	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

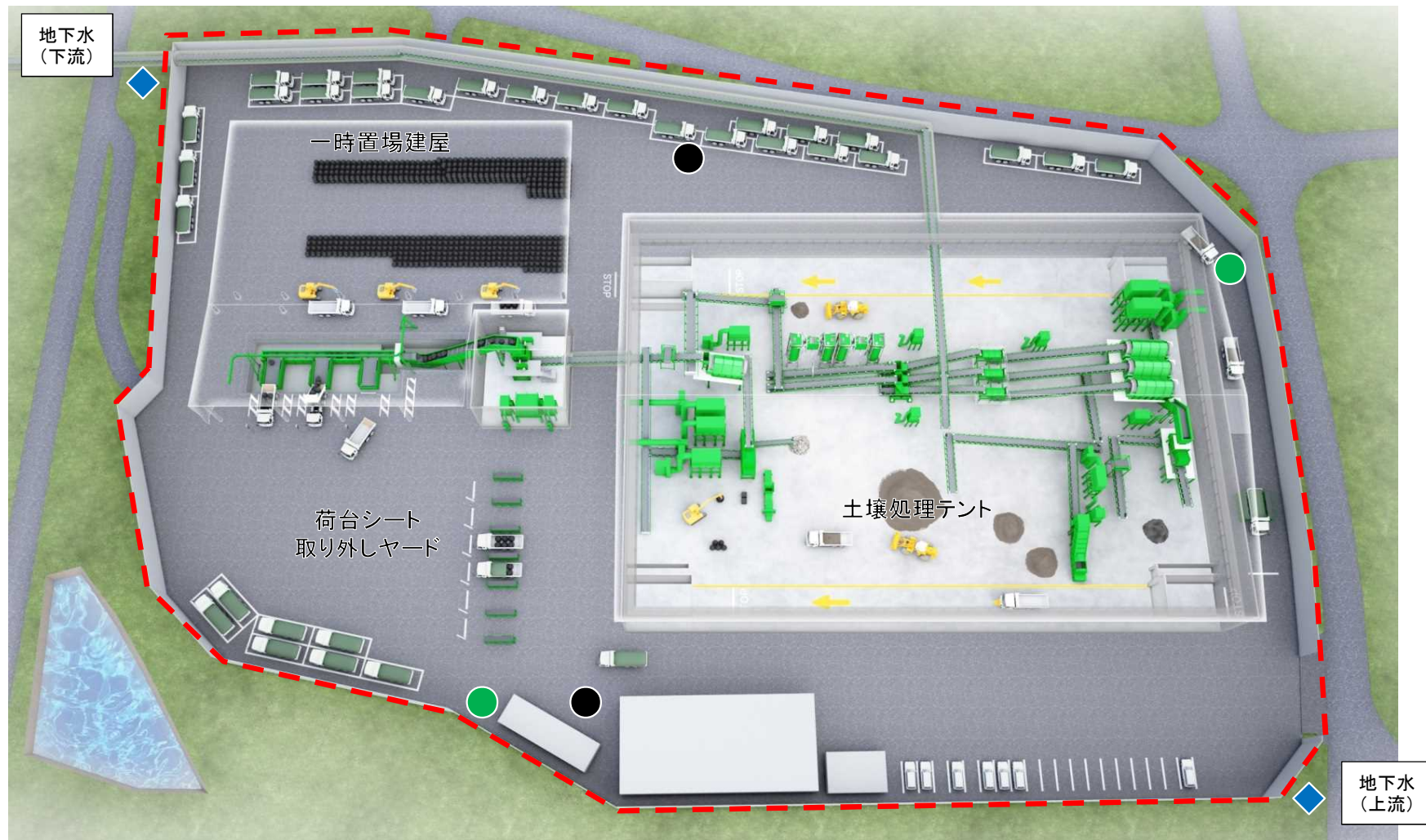
測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/24	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/9/5	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2019/7/24	（稼働前）	0.072
	2019/9/6	（稼働後）	0.13
下流	2019/7/24	（稼働前）	0.056
	2019/9/5	（稼働後）	0.055

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



【凡例】

●：騒音・振動 ●：悪臭 ◆：地下水検査項目 ---：敷地境界線

受入・分別施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル（dB）	
			西側	南側
2019/7/26（稼働前）			70	74
2019/11/20（稼働後）			74	77

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。

福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点		振動レベル（dB）	
			西側	南側
2019/7/26（稼働前）			37	53
2019/11/20（稼働後）			53	69

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。

福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
			西側	東側
2019/7/30（稼働前）			10未満（風下）	10未満（風上）
2019/11/20（稼働後）			10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。

福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/7/26（稼働前）		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/26（稼働前）		不検出	ND	ND	0.007	ND
	2019/11/20（稼働後）		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/7/26（稼働前）		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/7/26（稼働前）		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

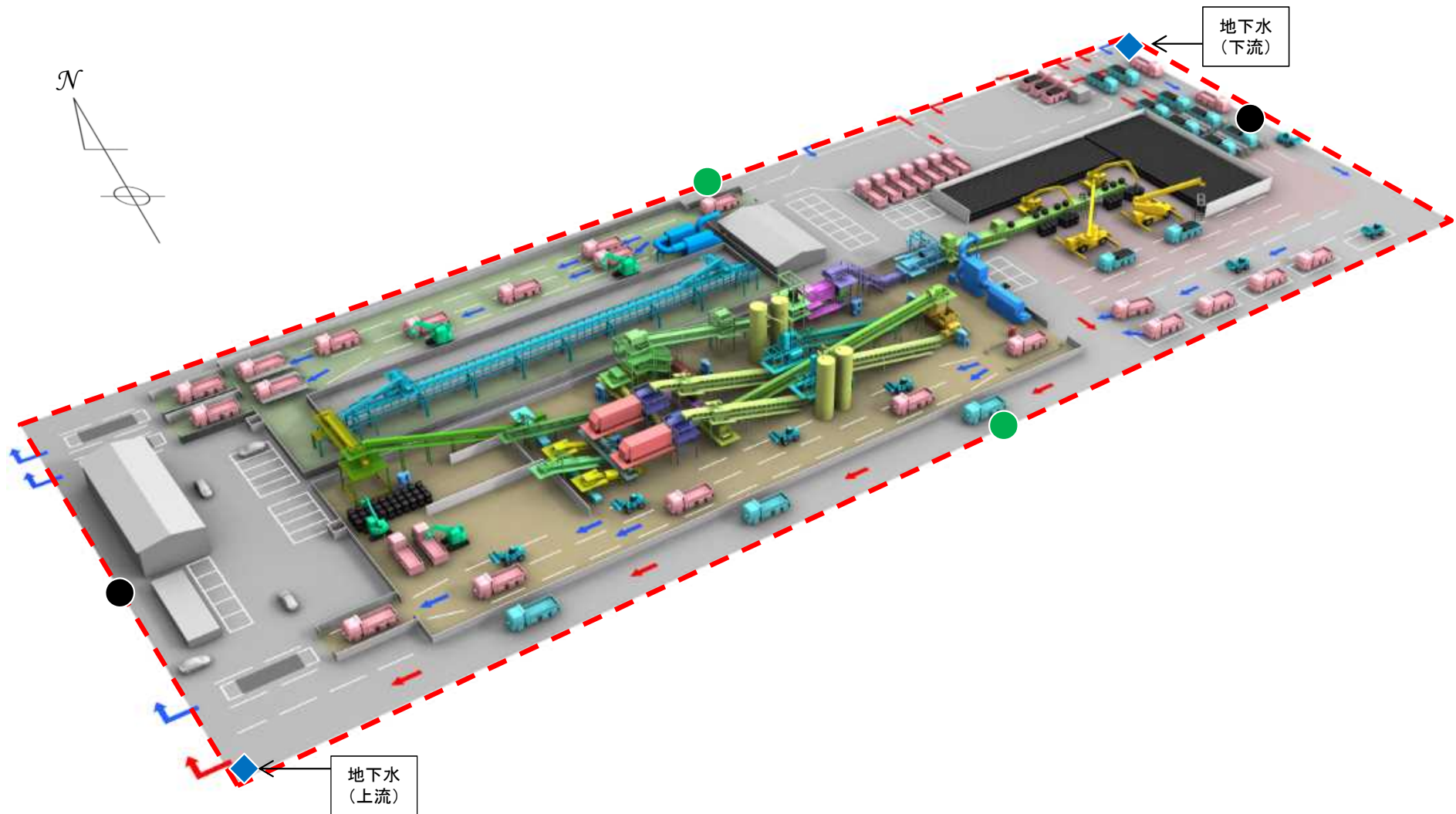
測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/7/26（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/11/20（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

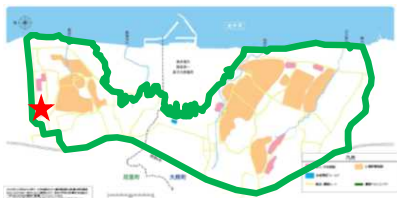
測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2019/7/26（稼働前）		0.037
	2019/11/20（稼働後）		0.031
下流	2019/7/26（稼働前）		0.035
	2019/11/20（稼働後）		0.032

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



★：施設の位置



凡例

●：騒音・振動

●：悪臭

◆：地下水検査項目

---：敷地境界線

受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル（dB）	
			北側	南側
2019/1/17（稼働前）			68	64
2019/7/25（稼働後）			68	69

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点		振動レベル（dB）	
			北側	南側
2019/1/17（稼働前）			50	40
2019/7/25（稼働後）			54	51

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
			西側	東側
2019/1/17（稼働前）			10未満（風上）	10未満（風下）
2019/7/25（稼働後）			10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水検査項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下
上流	2019/1/17	(稼働前)	不検出	ND	ND	0.014	ND
	2019/7/25	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.005	ND
下流	2019/1/17	(稼働前)	不検出	ND	ND	0.014	ND
	2019/7/25	(稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/1/17（稼働前）		0.004	不検出	不検出	ND	ND
	2019/7/25（稼働後）		0.002	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/1/17（稼働前）		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/7/25（稼働後）		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	
	測定日		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		地下水環境基準
上流	2019/1/17（稼働前）		1.5
	2019/7/25（稼働後）		0.51
下流	2019/1/17（稼働前）		0.12
	2019/7/25（稼働後）		0.057

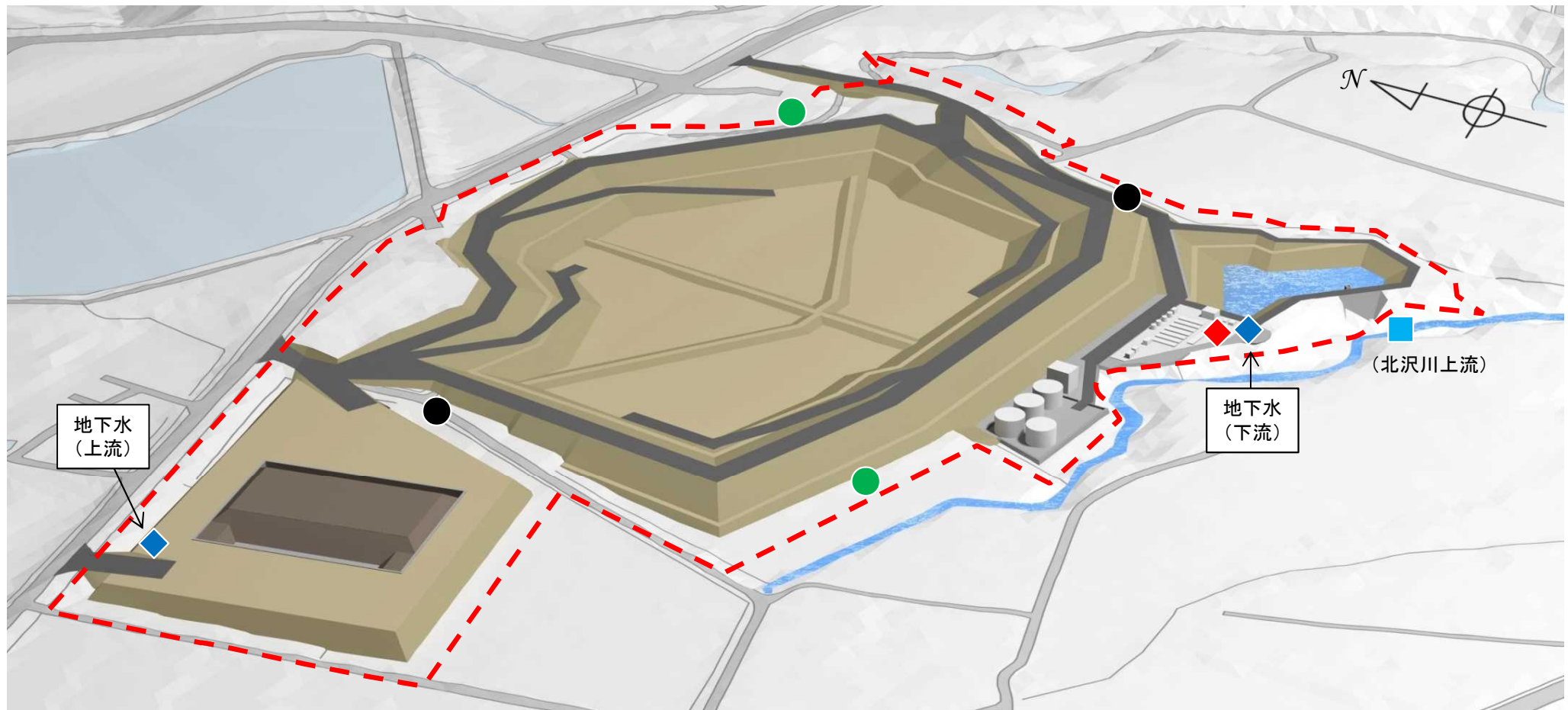
NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設のモニタリング結果（年次測定）

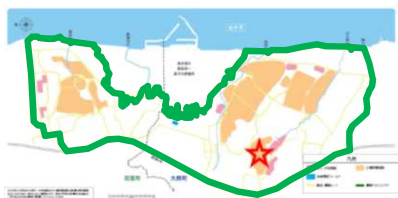
以下の工区については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第15回）でモニタリング結果を報告して以降、年次測定は実施していないため、今回は報告対象外。

- ・大熊②工区
- ・大熊③工区
- ・双葉①工区東側、西側

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆:施設の位置



凡例

● : 騒音・振動

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

● : 悪臭

■ : 放流先河川的环境項目

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

--- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定日	騒音レベル（dB）	
	北側	南側
2018/7/11（稼働前）	55	43
2019/12/4（稼働後）	59	55

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	振動レベル（dB）	
	北側	南側
2018/7/11（稼働前）	30未満	30未満
2019/12/4（稼働後）	38	37

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2018/7/11（稼働前）	10未満（風上）	23（風下）
2019/12/4（稼働後）	10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/7/11（稼働前）		不検出	ND	0.0023	0.028	ND
	2019/12/4（稼働後）		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11（稼働前）		不検出	ND	0.0037	0.120	ND
	2019/12/4（稼働後）		不検出	ND	0.0003	0.003	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
			0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/7/11（稼働前）		0.014	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		0.009	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/11（稼働前）		0.027	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		0.001	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
			1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/11（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/4（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			1以下
上流	2018/7/11（稼働前）		0.75
	2019/12/4（稼働後）		0.073
下流	2018/7/11（稼働前）		17
	2019/12/4（稼働後）		0.12

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	カドミウム及びその化合物	鉛及びその化合物	有機燐化合物
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/12/3 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物	砒素及びその化合物	シアン化合物	ポリ塩化ビフェニル	トリクロロエチレン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン及びその化合物	1,4-ジオキサン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ホルマリン抽出物質含有量（鉱油類含有量）	ホルマリン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	0.6	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量	銅含有量	亜鉛含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/12/3 (稼働後)	ND	ND	ND	0.1	0.7

測定項目	クロム含有量	大腸菌群数	ダイオキシン類
測定日	(mg/L)	(個/cm³)	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/12/3 (稼働後)	ND	0	0.013

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の水質項目

測定項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/7/11 (稼働前)	0.0015	不検出	ND	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀	アルキル水銀	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/7/11 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	フッ素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	0.14

測定項目	ホル素	1,4-ジオキサン
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2018/7/11 (稼働前)	ND	ND
2019/12/4 (稼働後)	ND	ND

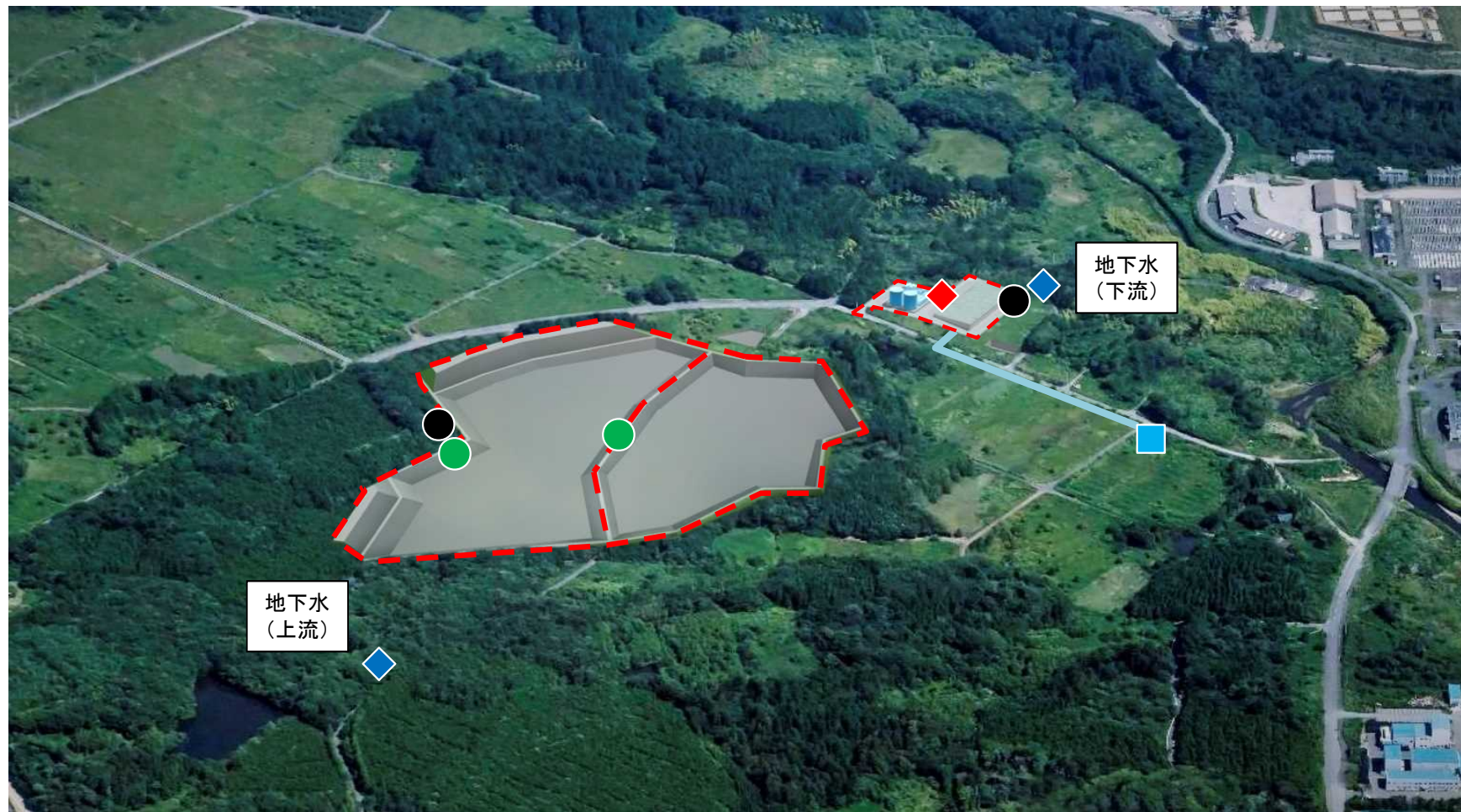
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※	浮遊物質 (SS) ※	溶存酸素量 (DO) ※	大腸菌群数 ※
測定日		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(MPN/100mL)
2018/7/11 (稼働前)	6.8	2.0	15	8.2	230000
2019/12/4 (稼働後)	7.6	0.8	8	10	330

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水質類型に指定されていない。

（参考）河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆: 施設の位置



凡例

● : 騒音・振動

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

● : 悪臭

■ : 放流先河川的环境項目

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

--- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル（dB）	
		西側	東側
2019/4/18	（稼働前）	65	66
2019/7/30	（稼働後）	71	66

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点	振動レベル（dB）	
		西側	東側
2019/4/18	（稼働前）	41	54
2019/7/30	（稼働後）	37	36

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		北側（浸出水）	南側（貯蔵エリアF）
2019/4/18	（稼働前）	10未満（風上）	10未満（風下）
2019/7/30	（稼働後）	10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	不検出	ND	ND	0.051	ND
	2019/7/30	（稼働後）	不検出	ND	ND	0.005	ND
下流	2019/4/18	（稼働前）	不検出	ND	ND	0.008	ND
	2019/7/30	（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
			0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/4/18	（稼働前）	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
			1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18	（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/7/30	（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			1以下
上流	2019/4/18	（稼働前）	0.79
	2019/7/30	（稼働後）	0.057
下流	2019/4/18	（稼働前）	0.039
	2019/7/30	（稼働後）	0.034

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	カドミウム及びその化合物	鉛及びその化合物	有機燐化合物
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/7/30 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物	砒素及びその化合物	シアン化合物	ポリ塩化ビフェニル	トリクロロエチレン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1ジクロロエチレン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	γ-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン及びその化合物	1,4-ジオキサン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	3.6	ND	ND

* ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）および（動植物油脂類含有量）の2項目については、2019年8月20日に実施。

測定項目	フェノール類含有量	銅含有量	亜鉛含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	0.21	ND	0.06

測定項目	クロム含有量	大腸菌群数	ダイオキシン類
測定日	(mg/L)	(個/cm ³)	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/7/30 (稼働後)	ND	11	0.004

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の水質項目

測定項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/4/18 (稼働前)	ND	不検出	ND	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀	アルキル水銀	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/4/18 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	γ-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	フッ素
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND	ND	0.3	ND

測定項目	ホウ素	1,4-ジオキサン
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2019/4/18 (稼働前)	ND	ND
2019/7/30 (稼働後)	ND	ND

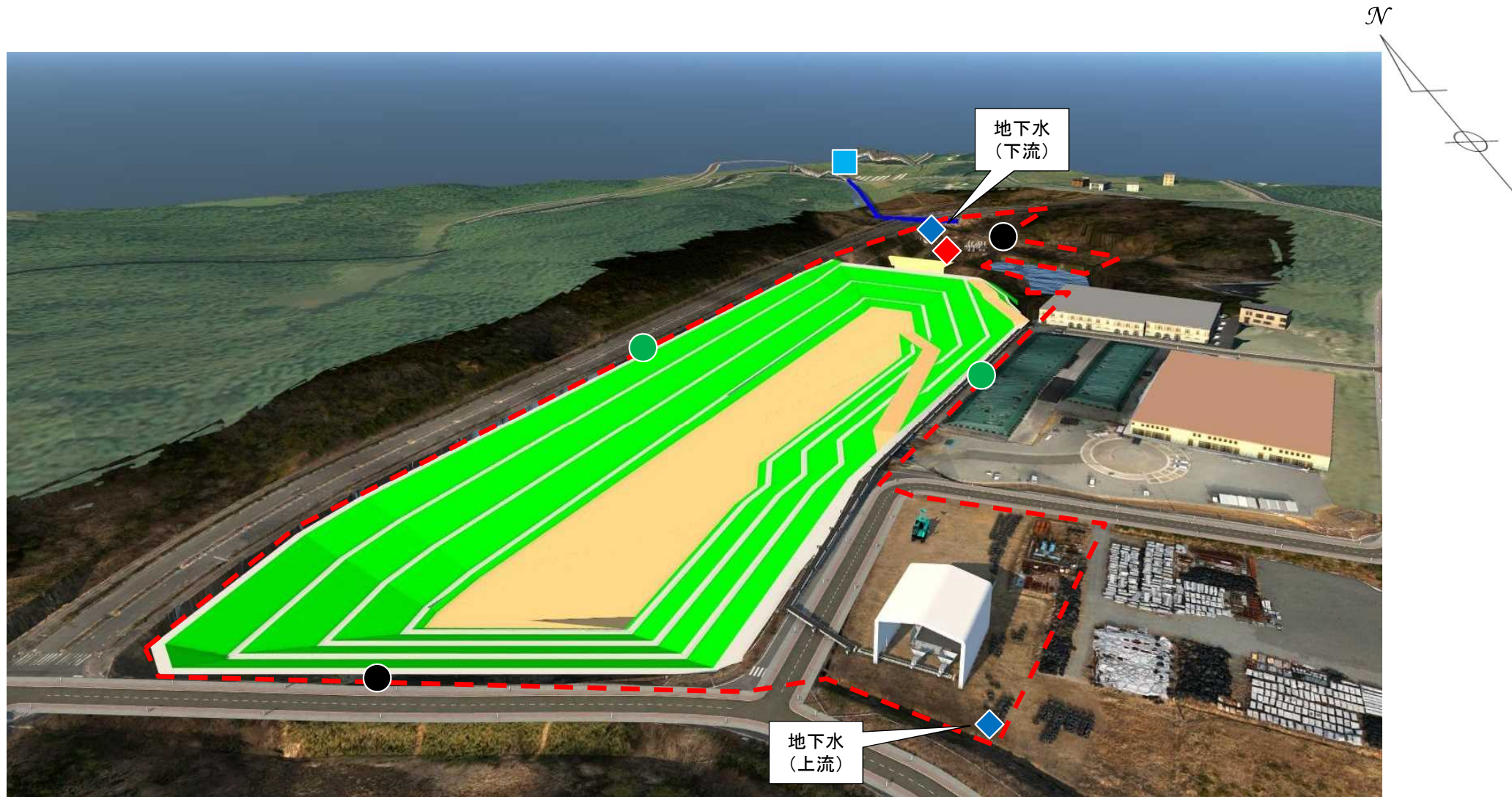
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※	浮遊物質 (SS) ※	溶存酸素量 (DO) ※	大腸菌群数 ※
測定日		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(MPN/100mL)
2019/4/18 (稼働前)	7.8	0.9	4	11.2	33
2019/7/30 (稼働後)	7.4	ND	9	8.5	2200

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

（参考）河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆:施設の位置



凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

■ : 放流先河川の環境項目

--- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル（dB）	
		北側	南側
2019/5/21（稼働前）		52	80
2019/12/19（稼働後）		73	73

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	測定地点	振動レベル（dB）	
		北側	南側
2019/5/21（稼働前）		35	38
2019/12/19（稼働後）		35	44

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2019/5/21（稼働前）		10未満（風上）	10未満（風下）
2019/12/19（稼働後）		10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/5/8（稼働前）		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8（稼働前）		不検出	ND	0.0003	0.073	ND
	2019/12/19（稼働後）		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
			0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/5/8（稼働前）		0.006	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		0.007	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/5/8（稼働前）		0.007	不検出	不検出	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
			1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
			0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8（稼働前）		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/12/19（稼働後）		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			1以下
上流	2019/5/8（稼働前）		0.23
	2019/12/19（稼働後）		0.27
下流	2019/5/8（稼働前）		0.057
	2019/12/19（稼働後）		0.037

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機燐化合物 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/12/19（稼働後）	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アンモニア、アンモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油類含有量) (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	4.1	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日					
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	2.6

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日			
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/12/19（稼働後）	ND	0	0.0006

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/4/24（稼働前）	ND	不検出	ND	ND	0.002
2019/12/19（稼働後）	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/4/24（稼働前）	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/12/19（稼働後）	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/4/24（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/4/24（稼働前）	ND	ND	ND	ND	ND
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/4/24（稼働前）	ND	ND	ND	0.5	0.14
2019/12/19（稼働後）	ND	ND	ND	0.3	0.08

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2019/4/24（稼働前）	ND	ND
2019/12/19（稼働後）	ND	ND

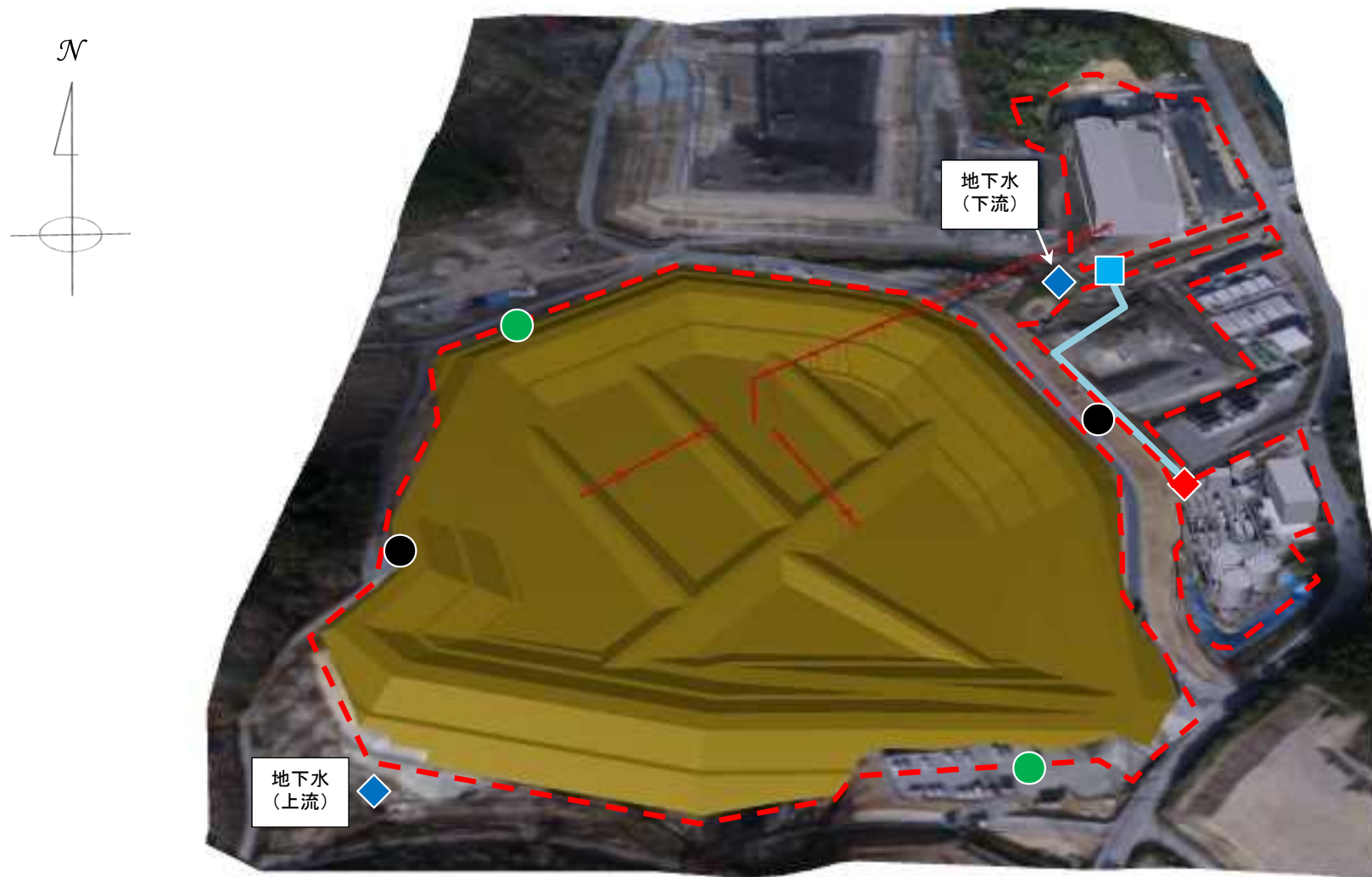
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2019/4/24（稼働前）	7.9	2.2	140	10.2	1400
2019/12/19（稼働後）	7.7	1.6	10	12.4	23

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

（参考）河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



☆: 施設の位置

【 凡例 】

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

■ : 放流先河川の環境項目

--- : 敷地境界線

年次測定項目については、稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（年次測定：稼働前）①

●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2019/12/21	40	44

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2019/12/21	25未満	25未満

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2019/12/16	10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/12/22	不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/12/22	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	地下水環境基準	1以下
上流	2019/11/26	0.81
下流	2019/11/26	0.72

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

土壌貯蔵施設（双葉③工区）のモニタリング測定結果（年次測定：稼働前）②

■放流先河川の環境項目

測定日 \ 測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/12/17	ND	不検出	0.001	ND	0.002

測定日 \ 測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/12/17	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定日 \ 測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/12/17	ND	ND	ND	ND	ND

測定日 \ 測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/12/17	ND	ND	ND	ND	ND

測定日 \ 測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/12/17	ND	ND	ND	0.3	0.09

測定日 \ 測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2019/12/17	ND	ND

測定日 \ 測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
2019/12/17	7.6	2.0	66	10	1700

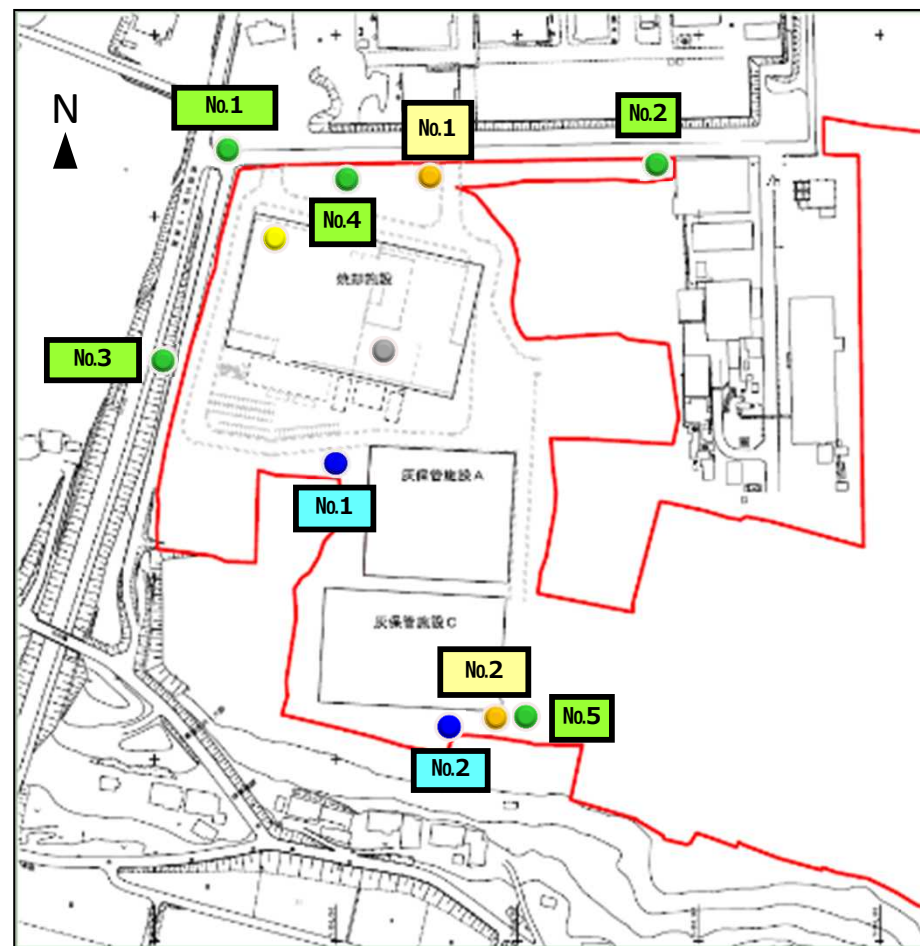
※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

（参考）河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

仮設焼却施設のモニタリング結果

大熊町仮設焼却施設のモニタリング測定地点



凡例

- 排ガス中の放射性物質濃度
- 地下水(井戸)中の放射性物質濃度
- 雨水(雨水排水集水桝)中の放射能濃度

- 空間線量率
- 粉じん濃度

大熊町仮設焼却施設のモニタリング測定結果

● 排ガス

測定地点	放射能濃度 (Bq/m ³ _N)	
煙突測定口	2019/4 ～ 2020/2	ND

検出下限値: 4Bq/m³_N
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 粉じん

測定地点	粉じん濃度 (mg/m ³)	
受入ヤード 破砕機近傍	2019/4 ～ 2020/2	0.31～3.5

● 雨水

測定地点	放射能濃度 (Bq/L)	
No.1	2019/4～ 2020/2	ND
No.2	2019/4 ～ 2020/2	ND

検出下限値: 1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

● 地下水

測定地点	放射能濃度 (Bq/L)	
No.1	2019/4 ～ 2020/2	ND
No.2	2019/4 ～ 2020/2	ND

検出下限値: 1Bq/L
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

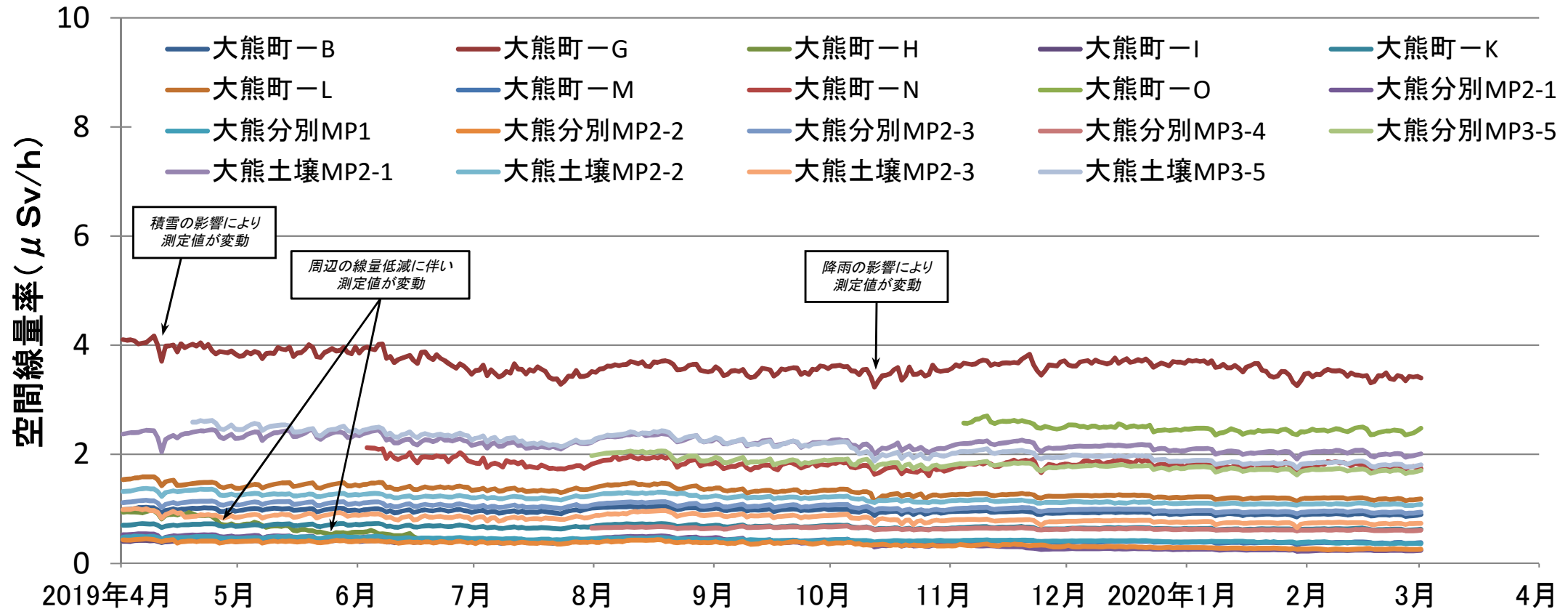
● 空間線量率

測定地点	空間線量率 (μSv/h)	
No.1	稼働前(2017/12/1～11)	4.41 ～ 4.60
	2019/4/1 ～ 2020/2/29	3.21 ～ 4.14
No.2	稼働前(2017/12/1～11)	4.41 ～ 4.63
	2019/4/1 ～ 2020/2/29	1.95 ～ 4.23
No.3	稼働前(2017/12/1～11)	2.05 ～ 2.21
	2019/4/1 ～ 2020/2/29	1.16 ～ 1.44
No.4	稼働前(2017/12/1～11)	0.61 ～ 1.10
	2019/4/1 ～ 2020/2/29	0.38 ～ 0.52
No.5	稼働前(2017/12/1～11)	0.93 ～ 1.11
	2019/4/1 ～ 2020/2/29	0.21 ～ 0.76

中間貯蔵施設区域におけるモニタリング結果

空間線量率及び地下水中の放射能濃度の測定結果(大熊町)

- 空間線量率の連続測定結果は下図のとおりであり、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減等による変動が見られたが、除去土壌等の保管、処理、貯蔵等による周辺への影響は見られなかった。
- 週次測定地点(305地点)の空間線量率は、 $0.14 \sim 11.3 \mu\text{Sv/h}$ の範囲であり、通常の変動の範囲内で推移している。(2019年4月1日～2020年2月28日)

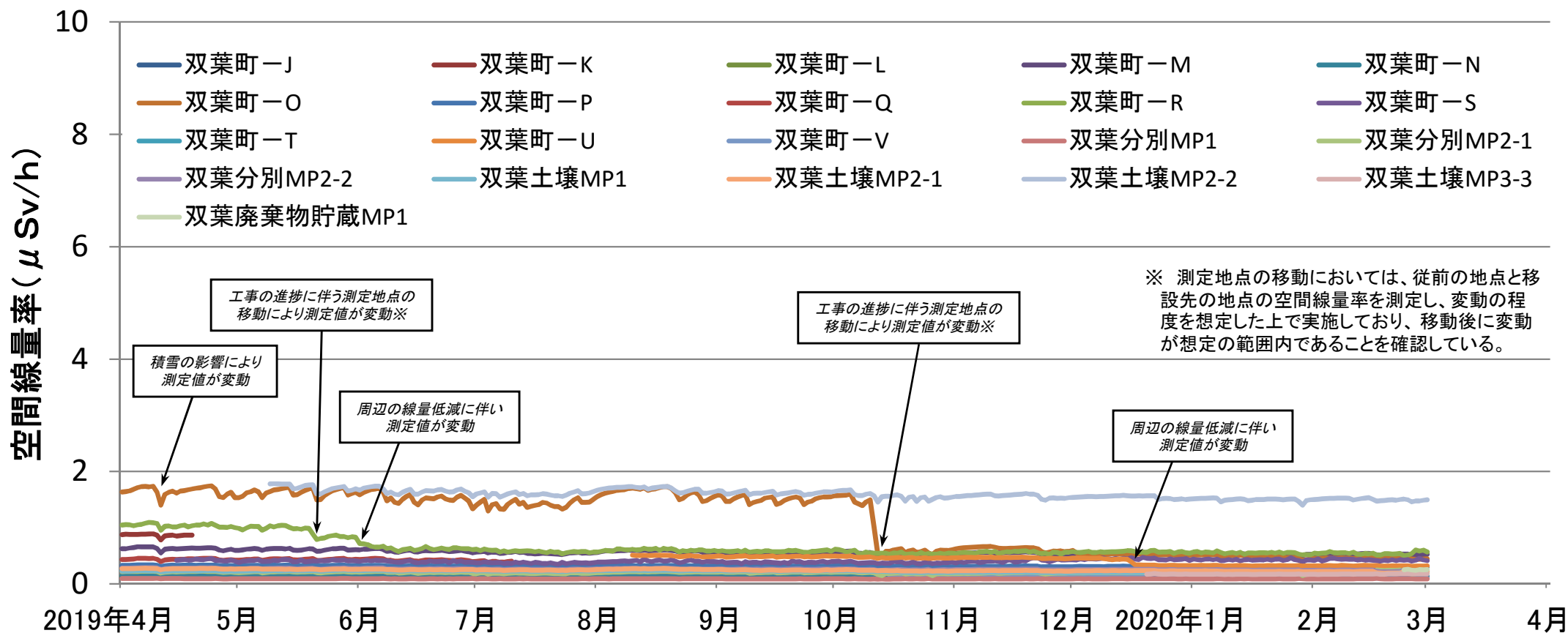


保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2019年4月1日～2020年3月1日)

- 地下水中の放射能濃度は、全て検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した。

空間線量率及び地下水中の放射能濃度の測定結果(双葉町)

- 空間線量率の連続測定結果は下図のとおりであり、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減、測定地点の移動等による変動が見られたが、除去土壌等の保管、処理、貯蔵等による周辺への影響は見られなかった。
- 週次測定地点(246地点)の空間線量率は、 $0.07 \sim 6.57 \mu\text{Sv/h}$ の範囲であり、通常の変動の範囲内で推移している。(2019年4月1日～2020年2月28日)



保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2019年4月1日～2020年3月1日)

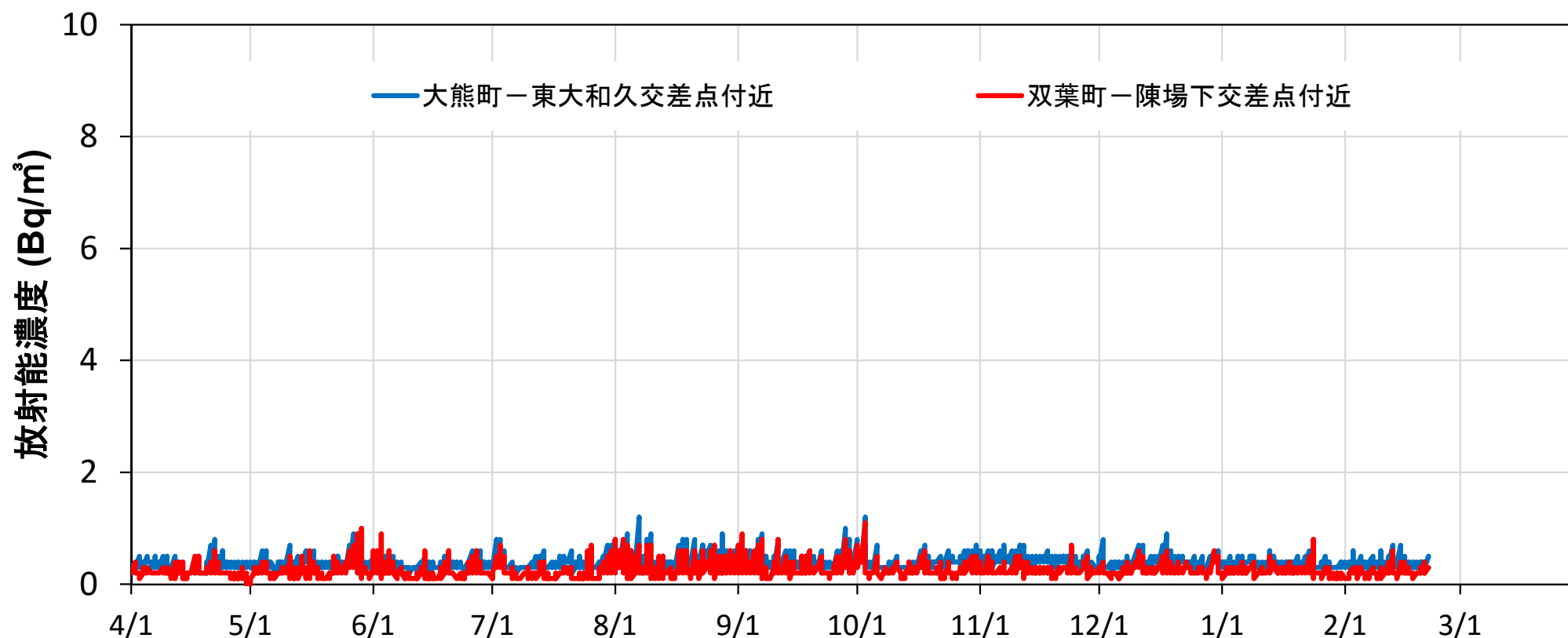
- 地下水中の放射能濃度は、全て検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した。

中間貯蔵施設区域境界における大気中放射能濃度の測定結果

○大気中放射能濃度は最大でもセシウム137が $1.68 \times 10^{-3} \text{Bq/m}^3$ (セシウム134は検出限界未満)であり、濃度限度の1万7千分の1程度であった(測定頻度:週1回)。

※検出下限値は千分の1 Bq/m^3 程度、濃度限度はセシウム134濃度/20+セシウム137濃度/30 ≤ 1

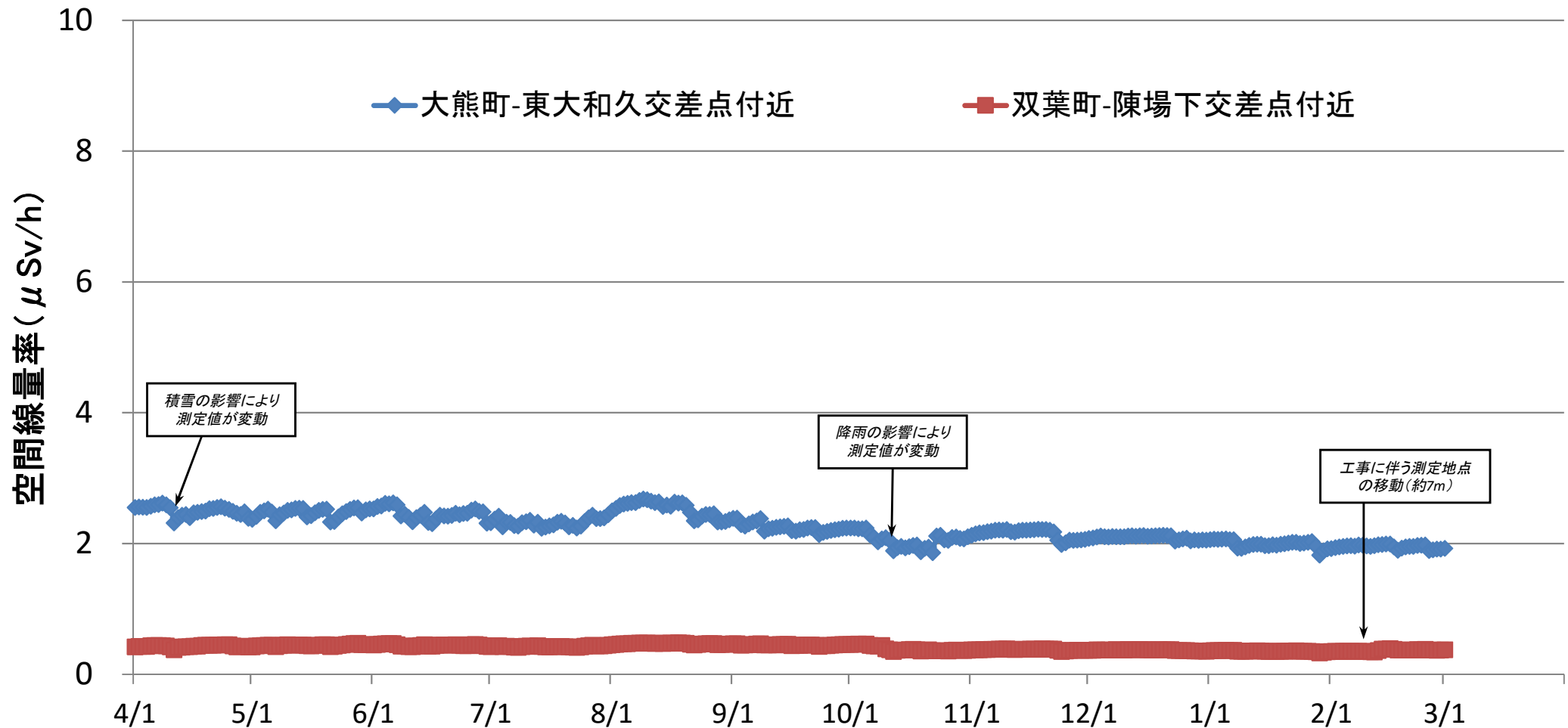
○放射能濃度の変化をより迅速に把握するため、 β 線の放射能濃度をリアルタイムに監視している。連続測定結果は下図のとおりであり、通常の変動の範囲内で推移している。



中間貯蔵施設区域境界における大気中の β 線の放射能濃度(連続測定)
(2019年4月1日～2020年2月21日)

中間貯蔵施設区域境界における 空間線量率の測定結果(連続測定)

○ 区域境界における空間線量率は下図のとおりであり、通常の変動の範囲内で推移している。

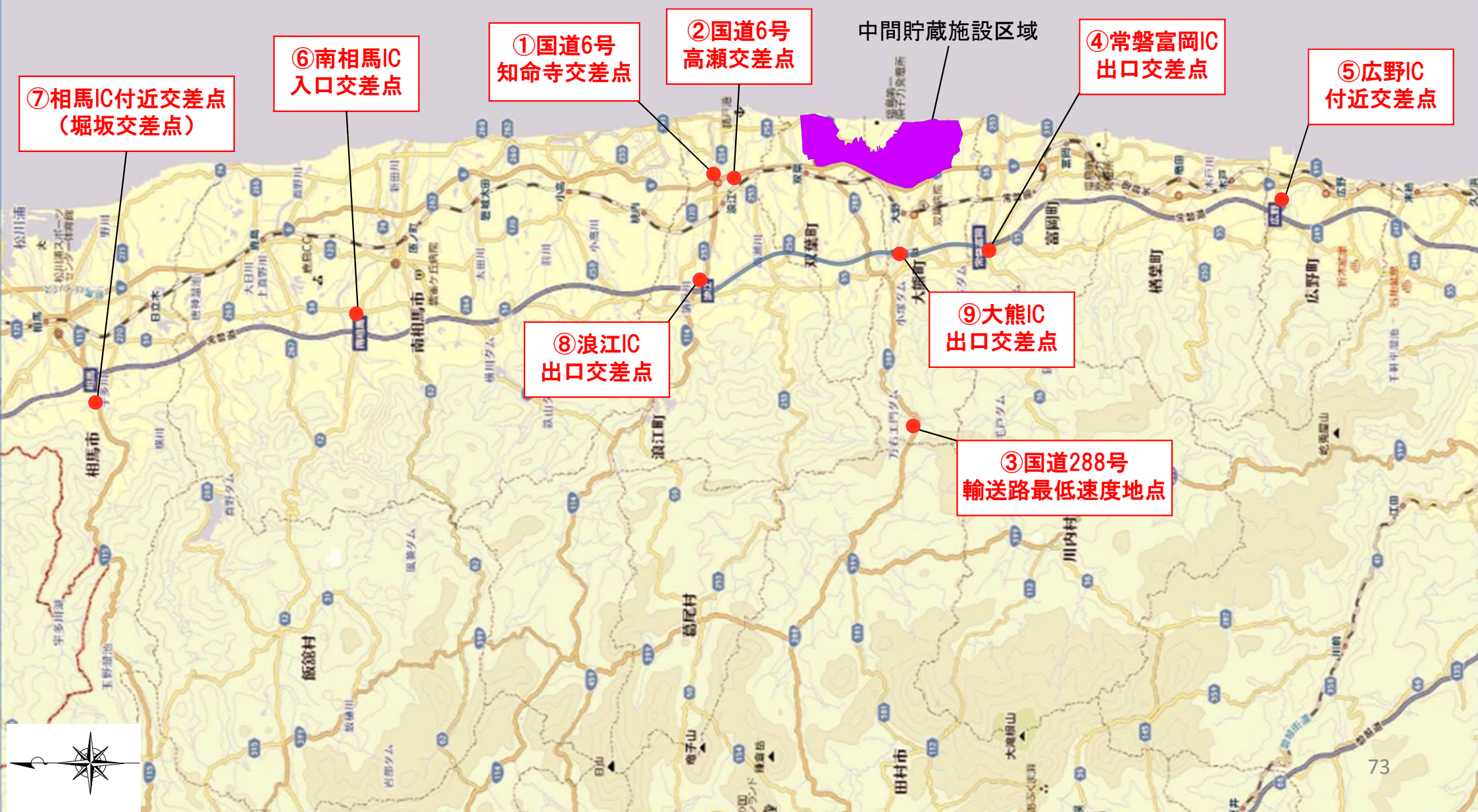


中間貯蔵施設区域境界における空間線量率の推移(連続測定)
(2019年4月1日～2020年3月1日)

輸送路における放射線量率の測定結果

輸送路における放射線量率の測定

- 輸送車両の通過地点のうち交差点や速度低下地点において、遮へい板付きの測定器を用いて周囲の放射線の影響を除去し、車道から歩道方向に入射する放射線量率の変化を測定している。



輸送路における放射線量率の測定結果

- 輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。

	当該地点を 通過した 輸送車両数 [台]	うち通過時に線 量率の増加が観 測されたもの [台]※ ¹	(参考) 当該地点の 空間線量率 [μSv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく 線量率 (瞬間最大値) [μSv/h]※ ²	線量率の増加が 観測された時間 (累積) [分]※ ²	追加被ばく線量 (累積) [μSv]
①知命寺	19,310	464	0.13	0.08	81	0.03
②高瀬	44,192	2,399	0.17	0.45	566	0.3
③国道288	18,268	236	0.18	0.03	34	0.01
④常磐富岡IC	9,773	72	0.53	0.06	15	0.007
⑤広野IC	8,037	90	0.14	0.03	16	0.006
⑥南相馬IC	48,896	3,778	0.12	0.14	758	0.6
⑦相馬IC※ ³	13,359	1,122	0.10	0.32	208	0.1
⑧浪江IC	106,017	5,573	0.37	0.31	822	0.7
⑨大熊IC	144,759	11	0.39	0.09	0.66	0.0006

※¹ 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値＋標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

※² 測定は20秒単位。

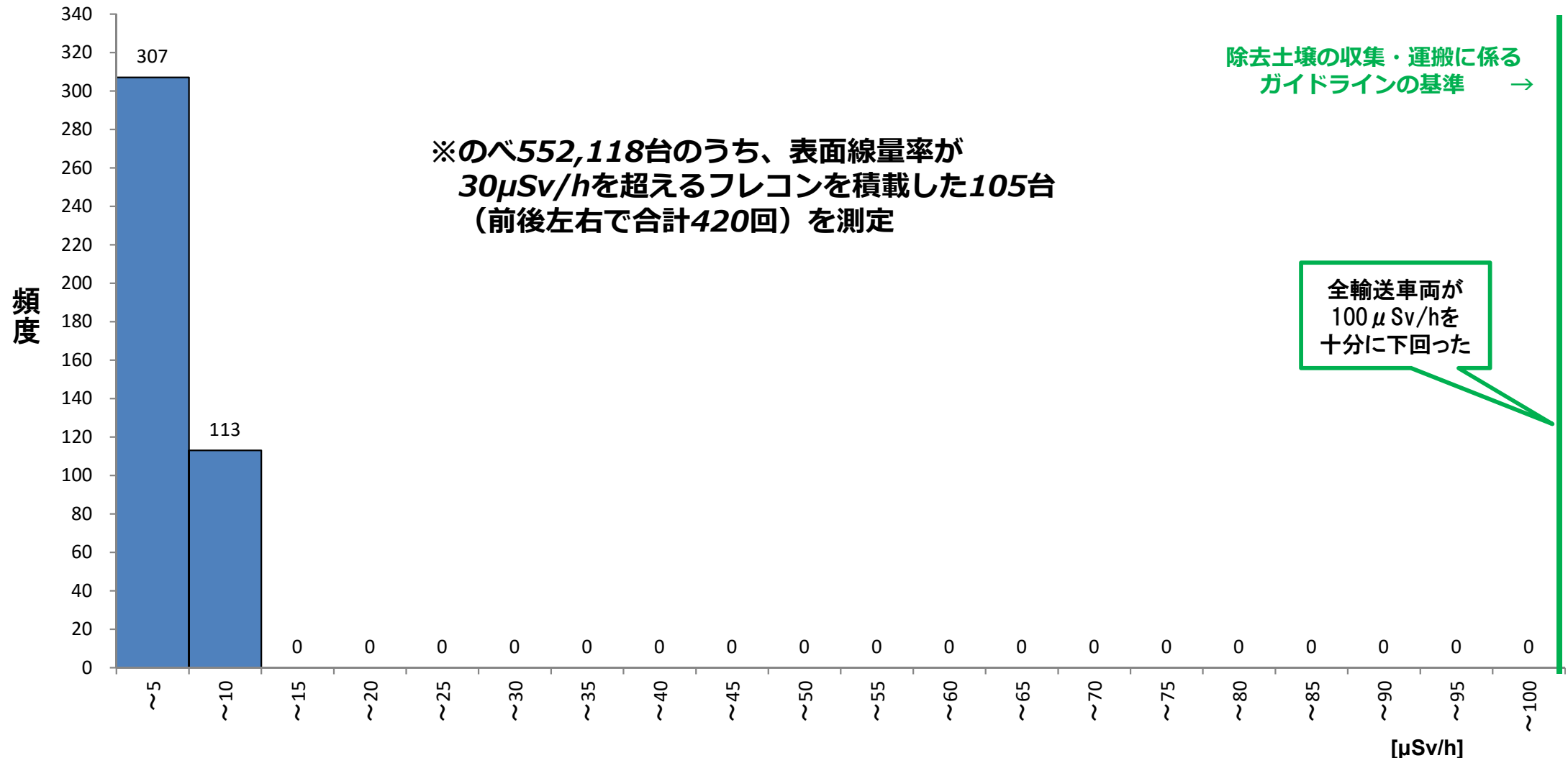
※³ 東北自動車道 相馬福島道路の開通に伴う輸送路の変更により、2/7測定終了。

輸送路における放射線量率の測定結果(2019年4月1日～2020年2月29日)

輸送車両のモニタリング結果

仮置場搬出時の輸送車両周辺の空間線量率の測定結果

○ 仮置場からの搬出時に、表面線量率が $30\mu\text{Sv/h}$ を超えるフレコンを積載した車両について、前後左右1メートル離れた地点で空間線量率を測定し、積載した除去土壌等による周辺への放射線の影響を確認している。



輸送車両周辺の空間線量率の測定結果(2019年4月1日～2020年3月8日時点) ※バックグラウンドの影響も含む

施設退出時の輸送車両のスクリーニング結果

- 中間貯蔵施設からの退出時に、除去土壌等を荷下ろしした輸送車両の汚染検査(スクリーニング)を行い、電離則及び除染電離則に定められた基準を超えていないことを確認している。
- 汚染がある場合は除染を行い、汚染がなくなったことを確認してから退出している。

